

西東京市 若者調査 結果報告書



西東京市マスコットキャラクター
「いこいいな」
©シンエイ/西東京市

令和7年3月
西東京市

目次

1 調査の概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査方法	3
3. 配布・回収状況	3
4. 調査項目	3
5. 報告書を読むにあたっての注意点.....	4
6. クロス集計で使用しているグルーピング.....	4
2 調査結果	5
1. 基本属性	7
2. 居場所.....	11
3. 他者との関わり方	15
4. 社会参加	21
5. 人生観・充実度・将来像	30
6. 相談・支援.....	32
7. 意見表明	48
8. 若者支援	53
9. 結婚・出産.....	55
10. 子ども条例	57
11. 自由回答	58

1 調査の概要

1. 調査の目的

西東京市では、次代を担う子どもと若者のすこやかな成長と子育てを支える地域社会の形成をめざし、「西東京市子育て・子育てワイワイプラン」に基づいてさまざまな取組を進めています。

本調査は、「西東京市子ども・若者ワイワイプラン（令和7年度から令和16年度まで）」の策定にあたり新たに包含される「子ども・若者計画」の検討のため、若者世代を取り巻く現状及び課題を把握するため実施したものです。

2. 調査方法

調 査 地 域 ： 西東京市全域

調 査 対 象 者 ： 西東京市在住の16歳から29歳までの男女4,000人

抽 出 方 法 ： 住民基本台帳より無作為抽出

調 査 方 法 ： 郵送にてはがき（WEB 回答用二次元コード付き）を配布し、WEB方式で回答

調 査 期 間 ： 令和6年6月3日～24日

3. 配布・回収状況

対象	発送数	回収数	回収率
16歳から29歳までの男女	4,000票	440票	11.0%

4. 調査項目

基本属性
居場所
他者との関わり方
社会参加
人生観・充実度・将来像
相談・支援
意見表明
若者支援
結婚・出産
子ども条例
自由回答

5. 報告書を読むにあたっての注意点

○設問文には【単数回答】(1つを選択)、【複数回答】(複数を選択)の別を付しています。

○グラフに付されている「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数(回答者数)を示しています。

○図表は、原則として回答者の構成比(百分率)で表現しています。「0.0」は四捨五入の結果または回答者が皆無であることを表します。

○百分率による集計では、回答者数(該当質問においては該当者数)を100%として算出し、本文及び図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記します。このため、すべての割合の合計が100%にならないことがあります。また、複数回答(複数を選択)の設問では、すべての割合の合計が100%を超えることがあります。

○図表の記載にあたり、調査票の質問文、選択肢等の文言を一部簡略化している場合があります。

○クロス集計では、見やすさを優先し「0.0%」や1%未満の数値表示を省略しているものがあります。

6. クロス集計で使用しているグルーピング

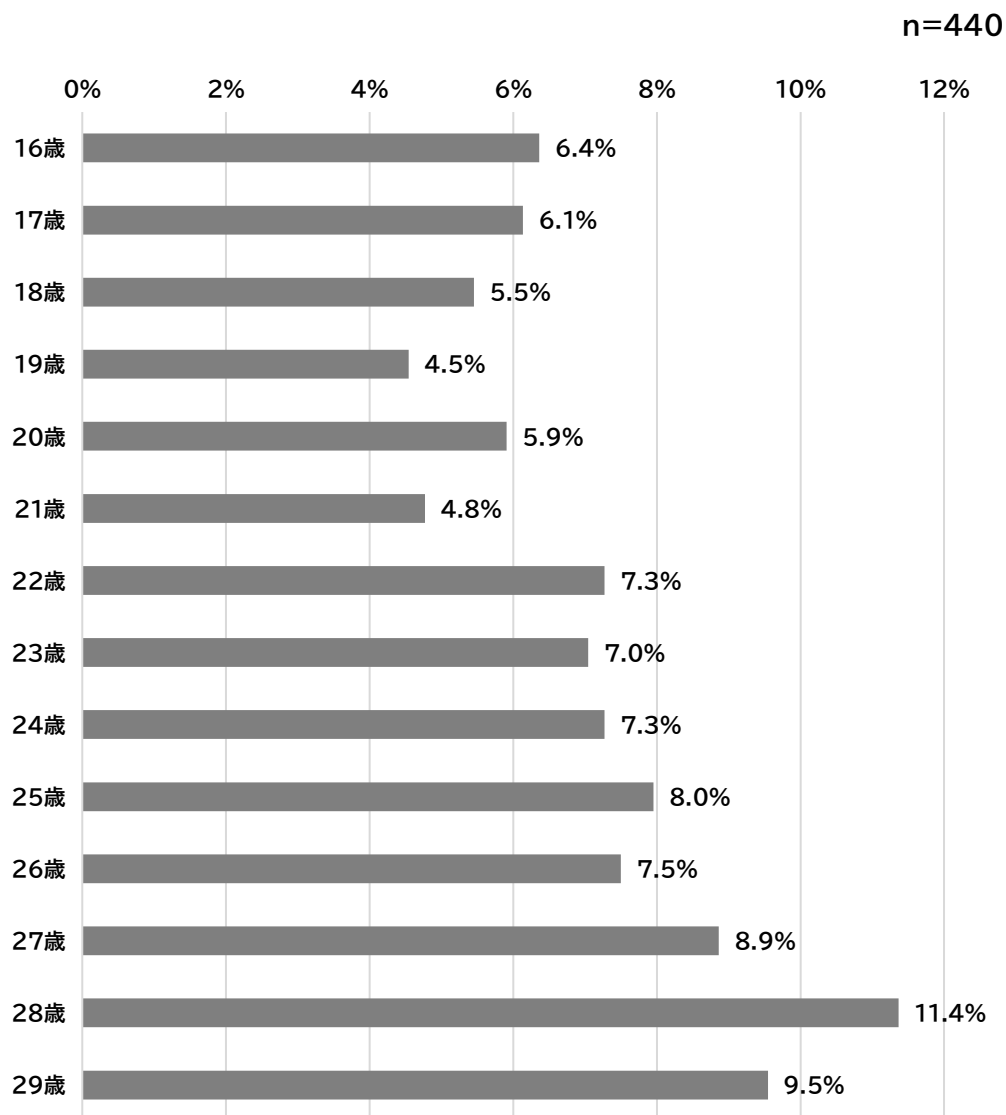
年齢層別	16～19歳:問1にて「16歳」、「17歳」、「18歳」、「19歳」を選択した方 20～24歳:問1にて「20歳」、「21歳」、「22歳」、「23歳」、「24歳」を選択した方 25～29歳:問1にて「25歳」、「26歳」、「27歳」、「28歳」、「29歳」を選択した方
現在の仕事別	学生群:問2にて「生徒・学生」を選択した方 正社員群:問2にて「正社員・正規職員・会社役員」を選択した方 非正社員群:問2にて「嘱託職員・契約社員・派遣社員」、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」、「自営業(家族従業者・内職・自由業・フリーランス含む)」を選択した方 無職群:問2にて「無職(仕事を探している)」、「無職(仕事を探していない)」を選択した方
同居家族別	I 群:問3にて「父」、「母」、「きょうだい」、「祖父母」、「その他親族」、「その他」を選択し、かつ「あなたの配偶者(事実上婚姻と同様の状態にある方を含む)」、「あなたの子」を選択しなかった方 II 群:問3にて「あなたの配偶者(恋人など 事実上婚姻と同様の状態にある方を含む)」、「あなたの子」を選択した方 III 群:問3にて「同居している人はいない(単身世帯)」を選択した方
活動参加別	活動に参加している:問8-1にて「どれにも参加していない」以外を選択した方 活動に参加していない:問8-1にて「どれにも参加していない」を選択した方
配偶者・子どもの有無別	子あり群:問3にて「あなたの子」を選択した方 配偶者あり/子なし群:問3にて「あなたの配偶者(事実上婚姻と同様の状態にある方を含む)」を選択し、かつ「あなたの子」を選択しなかった方 配偶者なし/子なし群:問3にて「あなたの配偶者(事実上婚姻と同様の状態にある方を含む)」、「あなたの子」を選択しなかった方

2 調査結果

1. 基本属性

問1 年齢【単数回答】

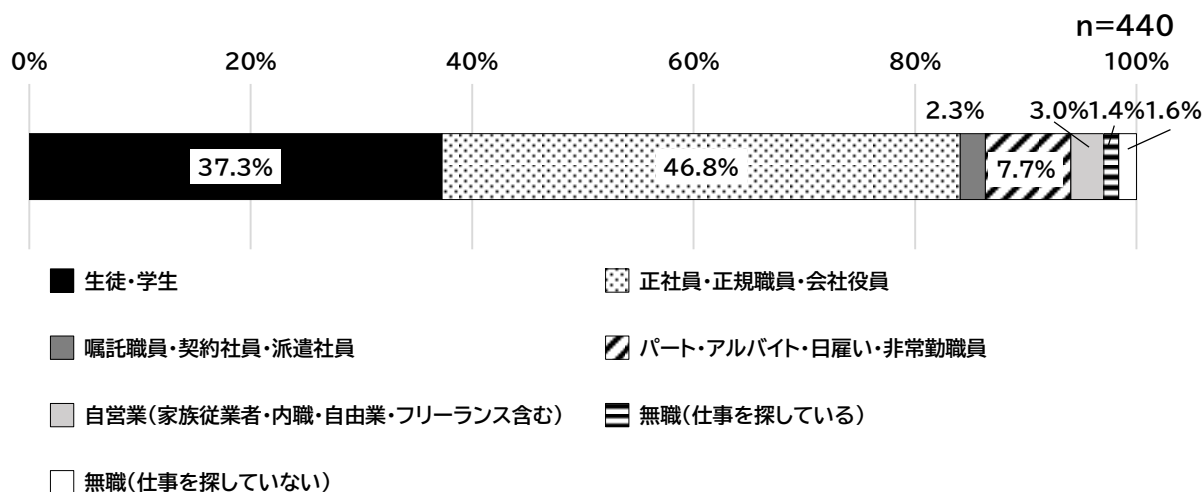
「28 歳」が 11.4%と最も多く、次いで「29 歳」が 9.5%、「27 歳」が 8.9%、「25 歳」が 8.0%、「26 歳」が 7.5%となっています。



問 2 現在の仕事【単数回答】

「正社員・正規職員・会社役員」が 46.8%と最も多く、次いで「生徒・学生」が 37.3%、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が 7.7%、「自営業(家族従業者・内職・自由業・フリーランス含む)」が 3.0%、「嘱託職員・契約社員・派遣社員」が 2.3%となっています。

年齢層別にみると、「16～19 歳」と「20～24 歳」は「生徒・学生」、「25～29 歳」は「正社員・正規職員・会社役員」が最も多くなっています。



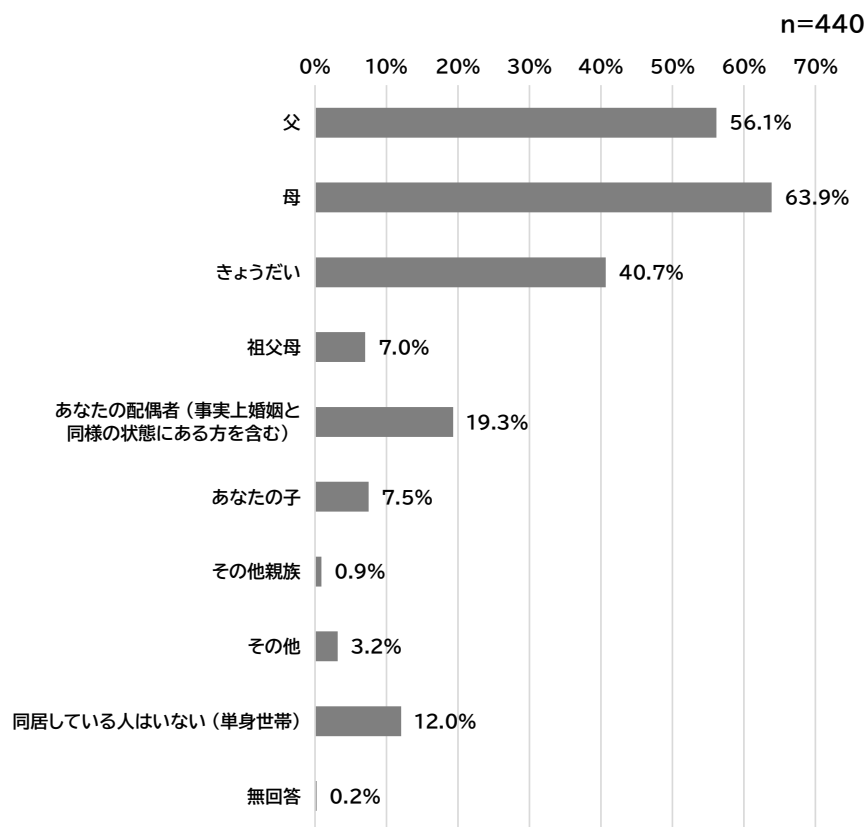
【年齢層別 現在の仕事】

	生徒・学生	正社員・正規職員・会社役員	嘱託職員・契約社員・派遣社員	パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	自営業	無職(仕事を探している)	無職(仕事を探していない)
16～19 歳 (n=99)	96.0%	1.0%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	1.0%
20～24 歳 (n=142)	47.2%	38.7%	2.1%	7.7%	2.1%	0.7%	1.4%
25～29 歳 (n=199)	1.0%	75.4%	3.5%	10.6%	5.0%	2.5%	2.0%

問 3 あなたと同居している方【複数回答】

「母」が 63.9%と最も多く、次いで「父」が 56.1%、「きょうだい」が 40.7%、「あなたの配偶者（事実上婚姻と同様の状態にある方を含む）」が 19.3%、「同居している人はいない（単身世帯）」が 12.0%となっています。

年齢層別にみると、「父母同居」は年齢が高いほど、割合が低くなっています。「配偶者と同居」「一人暮らし」は年齢が高いほど、割合が高くなっています。



【主な「その他」回答】

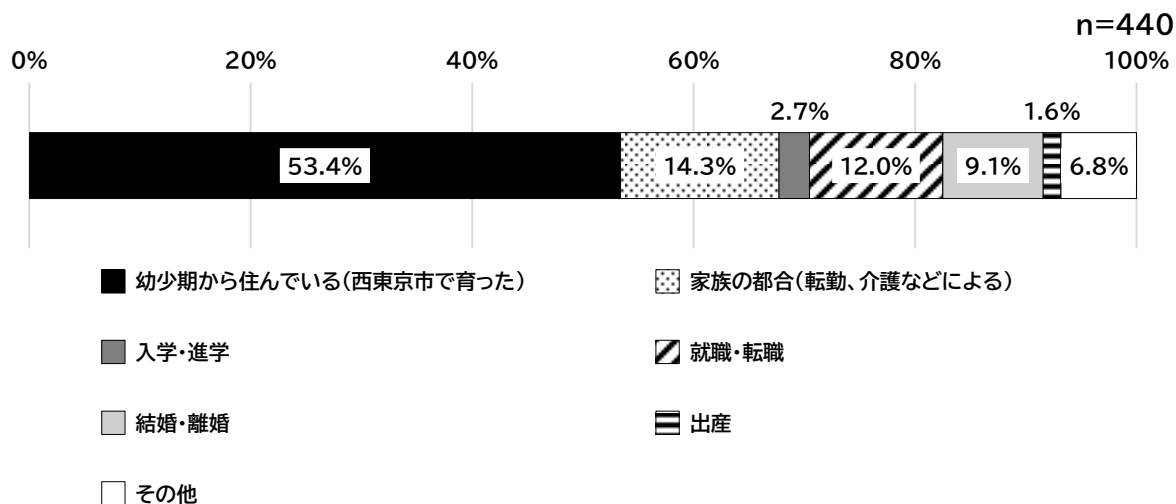
・恋人 9 件 等

【年齢層別 家族構成】

	父母同居	父または母と同居	配偶者と同居／子あり	配偶者と同居／子なし	ひとり親(配偶者なし/子あり)	一人暮らし	その他	無回答
16～19 歳 (n=99)	89.9%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%	1.0%
20～24 歳 (n=142)	66.9%	12.7%	0.0%	2.8%	0.0%	12.7%	4.9%	0.0%
25～29 歳 (n=199)	29.1%	8.0%	15.6%	24.1%	0.5%	16.6%	6.0%	0.0%

問 4 あなたが西東京市に住み始めたきっかけは何ですか。【単数回答】

「幼少期から住んでいる(西東京市で育った)」が 53.4%と最も多く、次いで「家族の都合(転勤、介護などによる)」が 14.3%、「就職・転職」が 12.0%、「結婚・離婚」が 9.1%、「入学・進学」が 2.7%となっています。



【主な「その他」回答】

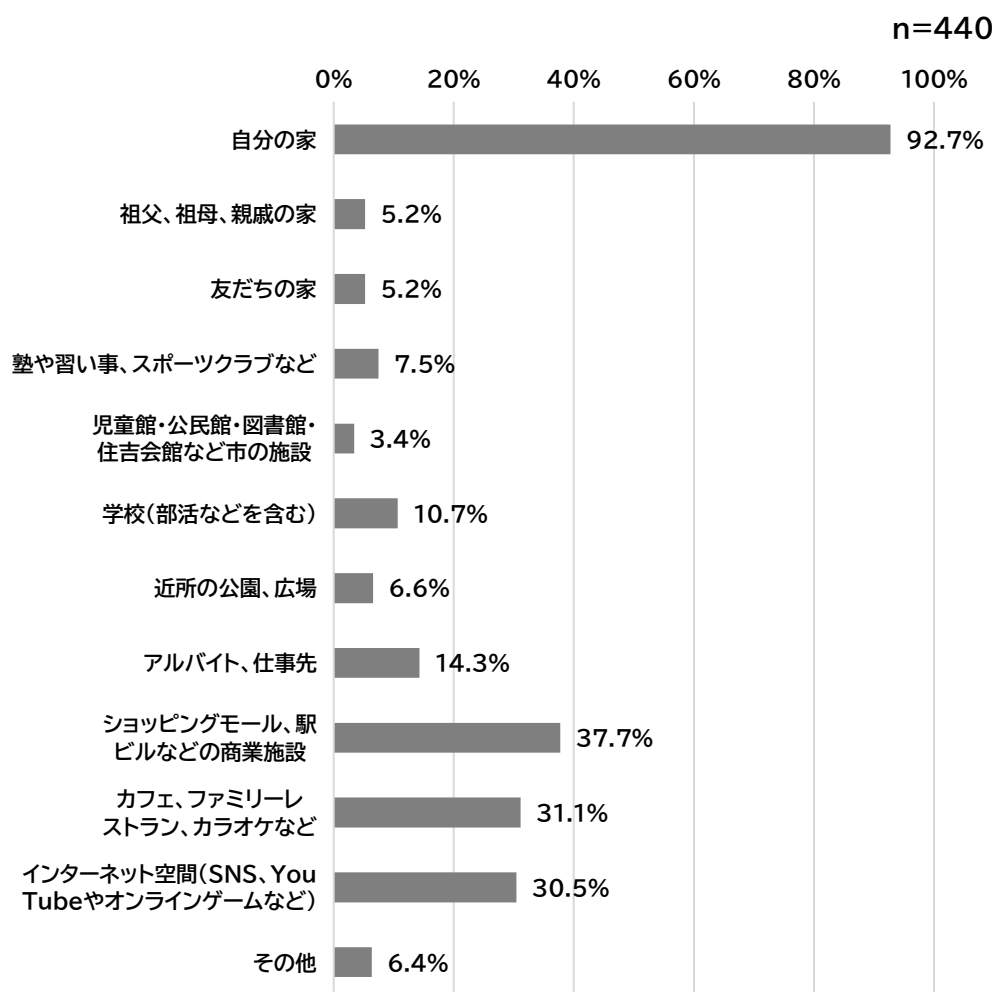
- ・希望の家賃だった/物件があった 6 件
- ・家の購入 4 件
- ・同棲 4 件
- ・パートナーの就職・転職 3 件 等

2. 居場所

問 5 終業後や休日はどこで過ごすことが多いですか。【複数回答】

「自分の家」が92.7%と最も多く、次いで「ショッピングモール、駅ビルなどの商業施設」が37.7%、「カフェ、ファミリーレストラン、カラオケなど」が31.1%、「インターネット空間(SNS、YouTubeやオンラインゲームなど)」が30.5%、「アルバイト、仕事先」が14.3%となっています。

現在の仕事別にみると、すべての群で「自分の家」が最も多く、次いで「学生群」は「アルバイト、仕事先」と「インターネット空間(SNS、YouTubeやオンラインゲームなど)」、「正社員群」は「ショッピングモール、駅ビルなどの商業施設」と「カフェ、ファミリーレストラン、カラオケなど」、「非正社員群」は「ショッピングモール、駅ビルなどの商業施設」と「インターネット空間(SNS、YouTubeやオンラインゲームなど)」、「無職群」は「インターネット空間(SNS、YouTubeやオンラインゲームなど)」と「ショッピングモール、駅ビルなどの商業施設」と「カフェ、ファミリーレストラン、カラオケなど」が多くなっています。



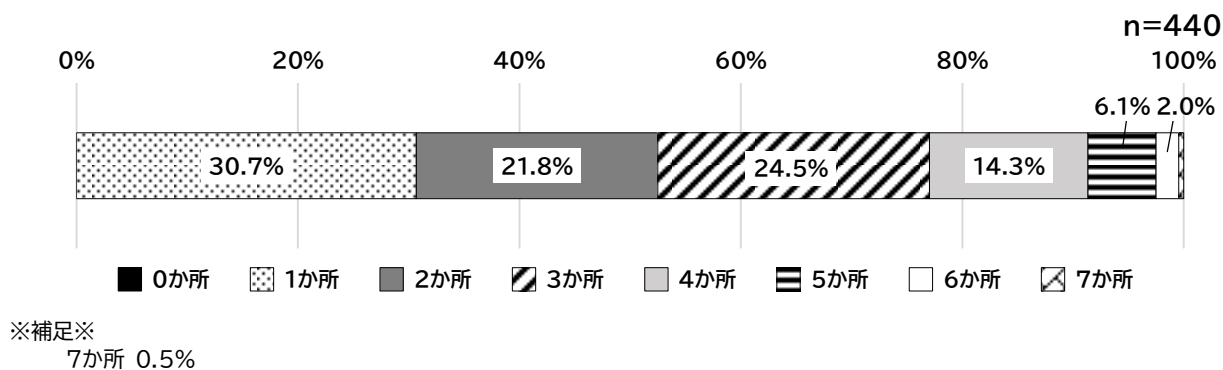
【主な「その他」回答】

- ・旅行 5 件
- ・居酒屋・バー 4 件
- ・自然がある場所(山等) 3 件 等

【現在の仕事別 終業後や休日過ごすことが多い場所】

	自分の家	祖父、祖母、親戚の家	友だちの家	塾や習い事、スポーツクラブなど	児童館・公民館・図書館・住吉会館など市の施設	学校(部活などを含む)	近所の公園、広場	アルバイト、仕事先	ショッピングモール、駅ビルなどの商業施設	カフェ、ファミリーレストラン、カラオケなど	インターネット空間(SNS、YouTubeやオンラインゲームなど)	その他
学生群 (n=164)	90.9%	2.4%	3.0%	14.0%	4.3%	28.7%	4.3%	35.4%	24.4%	28.7%	30.5%	3.0%
正社員群 (n=206)	93.7%	7.3%	6.8%	3.4%	2.4%	0.0%	10.2%	1.5%	46.1%	33.5%	26.7%	10.7%
非正社員群 (n=57)	93.0%	1.8%	5.3%	3.5%	1.8%	0.0%	0.0%	3.5%	45.6%	28.1%	40.4%	1.8%
無職群 (n=13)	100.0%	23.1%	7.7%	7.7%	15.4%	0.0%	7.7%	0.0%	38.5%	38.5%	46.2%	0.0%

【終業後や休日過ごす場所の数】



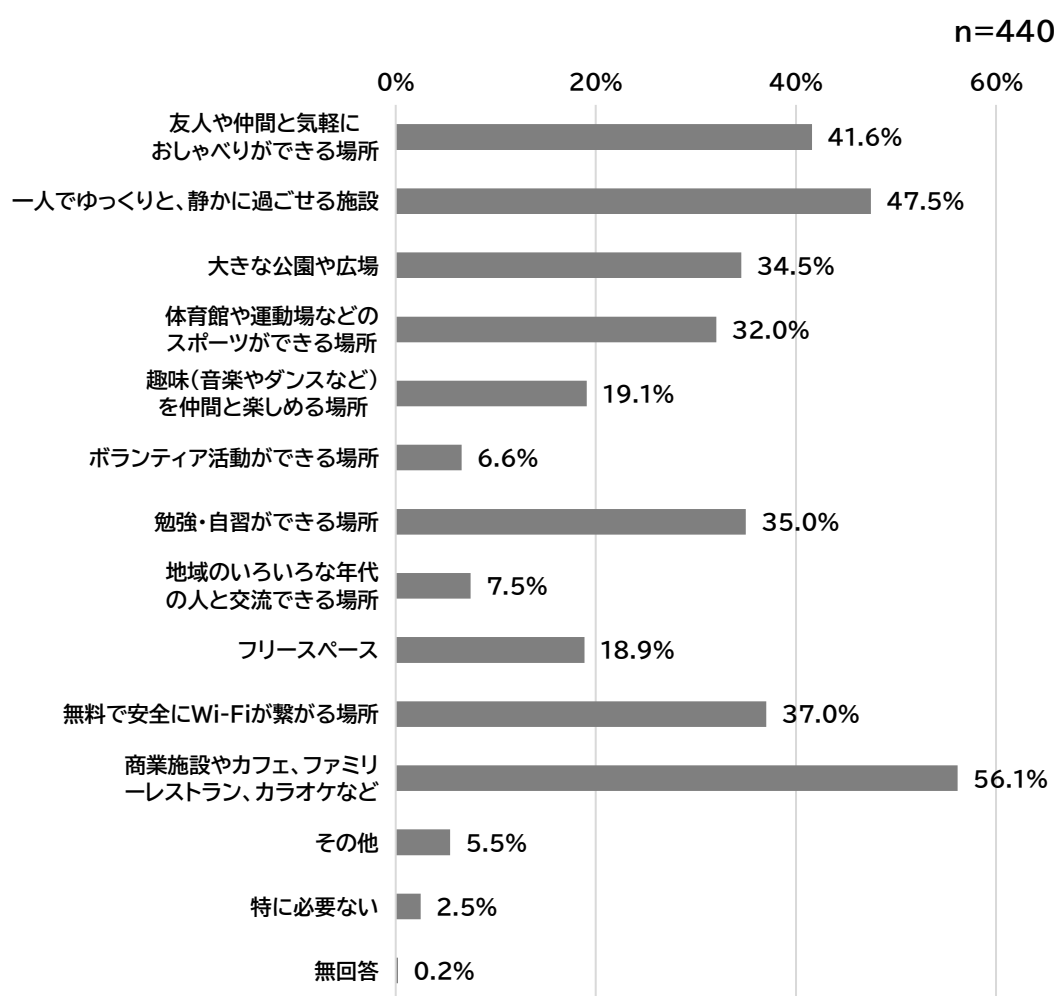
問 6 終業後や休日を過ごすのに、どのような施設や場所が市内にあると良いと思いますか。

【複数回答】

「商業施設やカフェ、ファミリーレストラン、カラオケなど」が56.1%と最も多く、次いで「一人でゆっくりと、静かに過ごせる施設」が47.5%、「友人や仲間と気軽におしゃべりができる場所」が41.6%、「無料で安全にWi-Fiが繋がる場所」が37.0%、「勉強・自習ができる場所」が35.0%となっています。

年齢層別にみると、「16～19歳」は「友人や仲間と気軽におしゃべりができる場所」、「20～24歳」は「一人でゆっくりと、静かに過ごせる施設」と「商業施設やカフェ、ファミリーレストラン、カラオケなど」、「25～29歳」は「商業施設やカフェ、ファミリーレストラン、カラオケなど」が最も多くなっています。

現在の仕事別にみると、「学生群」は「勉強・自習ができる場所」、「正社員群」と「非正社員群」は「商業施設やカフェ、ファミリーレストラン、カラオケなど」、「無職群」は「一人でゆっくりと、静かに過ごせる施設」が最も多くなっています。



【主な「その他」回答】

- ・映画館 5 件
- ・子どもと過ごせる施設(テーマパーク、フードコート等) 3 件
- ・ペットと過ごせる施設(ドッグラン等) 2件 等

【年齢層別 終業後や休日を過ごすのに、市内にあると良い施設や場所】

	友人や 仲間と 気軽に おしゃべ りができ る場所	一人で ゆっくり と、静か に過ご せる施 設	大きな 公園や 広場	体育館 や運動 場など のスポ ーツが でき る場 所	趣味(音 楽やダン スなど) を仲間 と楽しめ る場所	ボランテ ィア活動 ができ る場所	勉強・自 習がで きる場 所	地域の いろい ろな年 代の人 と交流 できる 場所	フリース ペース	無料で 安全に Wi-Fi が繋が る場所	商業施 設やカフェ、ファミ リール スト ラン、カラ オケなど	その他	特に必 要ない	無回答
16～19 歳 (n=99)	50.5%	41.4%	32.3%	39.4%	23.2%	9.1%	47.5%	6.1%	19.2%	46.5%	43.4%	8.1%	3.0%	0.0%
20～24 歳 (n=142)	40.1%	52.1%	29.6%	28.9%	21.1%	8.5%	39.4%	6.3%	21.1%	38.0%	52.1%	3.5%	2.1%	0.0%
25～29 歳 (n=199)	38.2%	47.2%	39.2%	30.7%	15.6%	4.0%	25.6%	9.0%	17.1%	31.7%	65.3%	5.5%	2.5%	0.5%

【現在の仕事別 終業後や休日を過ごすのに、市内にあると良い施設や場所】

	友人や 仲間と 気軽に おしゃべ りができ る場所	一人で ゆっくり と、静か に過ご せる施 設	大きな 公園や 広場	体育館 や運動 場など のスポ ーツが でき る場 所	趣味(音 楽やダン スなど) を仲間 と楽しめ る場所	ボランテ ィア活動 ができ る場所	勉強・自 習がで きる場 所	地域の いろい ろな年 代の人 と交流 できる 場所	フリース ペース	無料で 安全に Wi-Fi が繋が る場所	商業施 設やカフェ、ファミ リール スト ラン、カラ オケなど	その他	特に必 要ない	無回答
学生群 (n=164)	45.7%	45.1%	30.5%	37.8%	21.3%	11.0%	50.0%	6.7%	19.5%	45.1%	45.1%	5.5%	2.4%	0.0%
正社員群 (n=206)	38.8%	46.6%	38.3%	29.6%	17.0%	2.9%	25.7%	7.8%	17.5%	33.0%	61.2%	5.3%	2.9%	0.0%
非正社員群 (n=57)	36.8%	47.4%	28.1%	21.1%	19.3%	7.0%	22.8%	7.0%	19.3%	29.8%	63.2%	7.0%	1.8%	1.8%
無職群 (n=13)	53.8%	92.3%	53.8%	46.2%	23.1%	7.7%	46.2%	15.4%	30.8%	30.8%	84.6%	0.0%	0.0%	0.0%

3. 他者との関わり方

問 7 周囲の人とあなたのかかわりは、現在どのようなものですか。【各設問 単数回答】

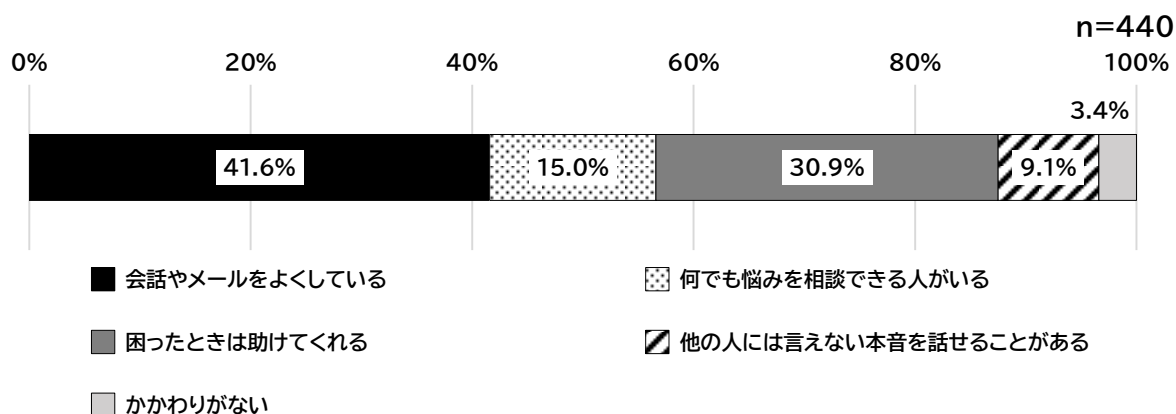
(a) 家族・親族とのかかわり

「会話やメールをよくしている」が 41.6%と最も多く、次いで「困ったときは助けてくれる」が 30.9%、「何でも悩みを相談できる人がある」が 15.0%、「他の人には言えない本音を話せることがある」が 9.1%、「かわりがない」が 3.4%となっています。

年齢層別にみると、全年齢で「会話やメールをよくしている」が最も多くなっています。また、「16～19 歳」は「20～24 歳」と「25～29 歳」と比べて「他の人には言えない本音を話せることがある」が多くなっています。

現在の仕事別にみると、「学生群」と「正社員群」と「非正社員群」は「会話やメールをよくしている」、「無職群」は「困ったときは助けてくれる」が最も多くなっています。

同居家族別にみると、「Ⅰ・Ⅱ群」では、「会話やメールをよくしている」、「Ⅲ群」では、「困ったときは助けてくれる」が最も多くなっています。また、「Ⅲ群」は「Ⅰ・Ⅱ群」と比べて「何でも悩みを相談できる人がある」が少なく、「困ったときは助けてくれる」が多くなっています。



【年齢層別 家族・親族とのかかわり】

	会話やメールをよくしている	何でも悩みを相談できる人がある	困ったときは助けてくれる	他の人には言えない本音を話せることがある	かわりがない
16～19 歳 (n=99)	40.4%	13.1%	30.3%	15.2%	1.0%
20～24 歳 (n=142)	42.3%	16.2%	31.0%	6.3%	4.2%
25～29 歳 (n=199)	41.7%	15.1%	31.2%	8.0%	4.0%

【現在の仕事別 家族・親族とのかかわり】

	会話やメールをよくしている	何でも悩みを相談できる人がある	困ったときは助けてくれる	他の人には言えない本音を話せることがある	かかわりがない
学生群 (n=164)	38.4%	15.2%	32.3%	11.6%	2.4%
正社員群 (n=206)	42.7%	13.6%	31.1%	8.3%	4.4%
非正社員群 (n=57)	50.9%	15.8%	24.6%	5.3%	3.5%
無職群 (n=13)	23.1%	30.8%	38.5%	7.7%	0.0%

【同居家族別 家族・親族とのかかわり】

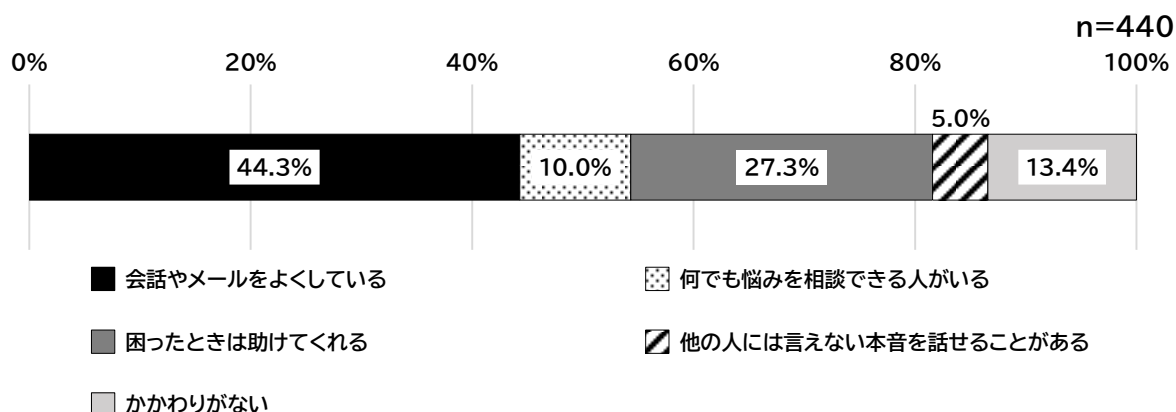
	会話やメールをよくしている	何でも悩みを相談できる人がある	困ったときは助けてくれる	他の人には言えない本音を話せることがある	かかわりがない
I 群 (n=291)	42.3%	16.5%	28.5%	10.3%	2.4%
II 群 (n=95)	38.9%	17.9%	29.5%	9.5%	4.2%
III 群 (n=53)	41.5%	1.9%	47.2%	1.9%	7.5%

(b) 学校や職場・アルバイト関係の人とのかかわり

「会話やメールをよくしている」が 44.3%と最も多く、次いで「困ったときは助けてくれる」が 27.3%、「かかわりがない」が 13.4%、「何でも悩みを相談できる人がある」が 10.0%、「他の人には言えない本音を話せることがある」が 5.0%となっています。

年齢層別にみると、全年齢で「会話やメールをよくしている」が最も多くなっています。また、「20～24 歳」と「25～29 歳」は「16～19 歳」と比べて「困ったときは助けてくれる」が多くなっています。

現在の仕事別にみると、「学生群」と「正社員群」と「非正社員群」は「会話やメールをよくしている」、「無職群」は「かかわりがない」が最も多くなっています。



【年齢層別 学校や職場・アルバイト関係の人とのかかわり】

	会話やメールをよくしている	何でも悩みを相談できる人がある	困ったときは助けてくれる	他の人には言えない本音を話せることがある	かかわりがない
16～19 歳 (n=99)	57.6%	9.1%	19.2%	7.1%	7.1%
20～24 歳 (n=142)	41.5%	11.3%	29.6%	4.9%	12.7%
25～29 歳 (n=199)	39.7%	9.5%	29.6%	4.0%	17.1%

【現在の仕事別 学校や職場・アルバイト関係の人とのかかわり】

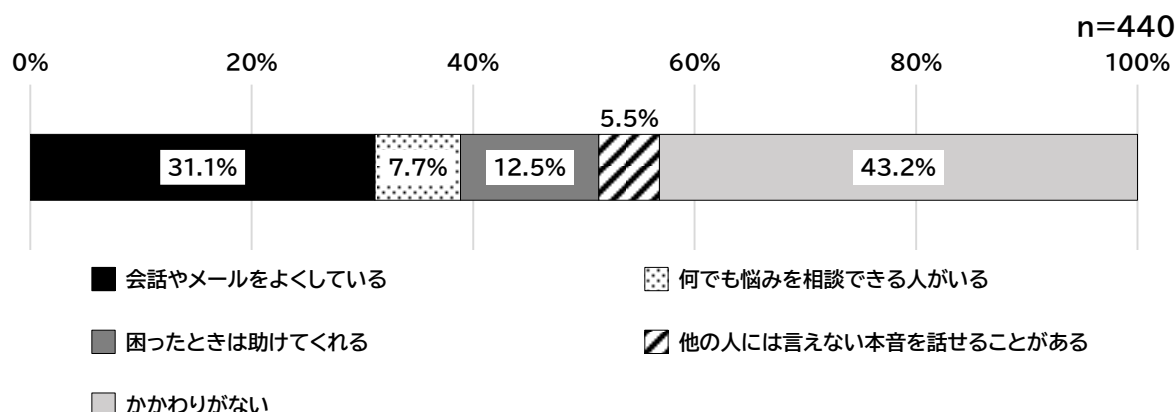
	会話やメールをよくしている	何でも悩みを相談できる人がある	困ったときは助けてくれる	他の人には言えない本音を話せることがある	かかわりがない
学生群 (n=164)	53.0%	11.0%	20.7%	7.3%	7.9%
正社員群 (n=206)	39.3%	11.7%	34.5%	3.9%	10.7%
非正社員群 (n=57)	42.1%	1.8%	24.6%	3.5%	28.1%
無職群 (n=13)	23.1%	7.7%	7.7%	0.0%	61.5%

(c) 趣味や習い事関係の人とのかかわり(塾や習い事、サークル活動・クラブ活動・部活動での友人・知人)

「かかわりがない」が43.2%と最も多く、次いで「会話やメールをよくしている」が31.1%、「困ったときは助けてくれる」が12.5%、「何でも悩みを相談できる人がある」が7.7%、「他の人には言えない本音を話せることがある」が5.5%となっています。

年齢層別にみると、「16～19 歳」は「会話やメールをよくしている」、「20～24 歳」と「25～29 歳」は「かかわりがない」が最も多くなっています。

現在の仕事別にみると、「学生群」は「会話やメールをよくしている」、「正社員群」と「非正社員群」と「無職群」は「かかわりがない」が最も多くなっています。



【年齢層別 趣味や習い事関係の人とのかかわり】

	会話やメールをよくしている	何でも悩みを相談できる人がある	困ったときは助けてくれる	他の人には言えない本音を話せることがある	かかわりがない
16～19 歳 (n=99)	47.5%	11.1%	15.2%	4.0%	22.2%
20～24 歳 (n=142)	31.7%	6.3%	12.7%	8.5%	40.8%
25～29 歳 (n=199)	22.6%	7.0%	11.1%	4.0%	55.3%

【現在の仕事別 趣味や習い事関係の人とのかかわり】

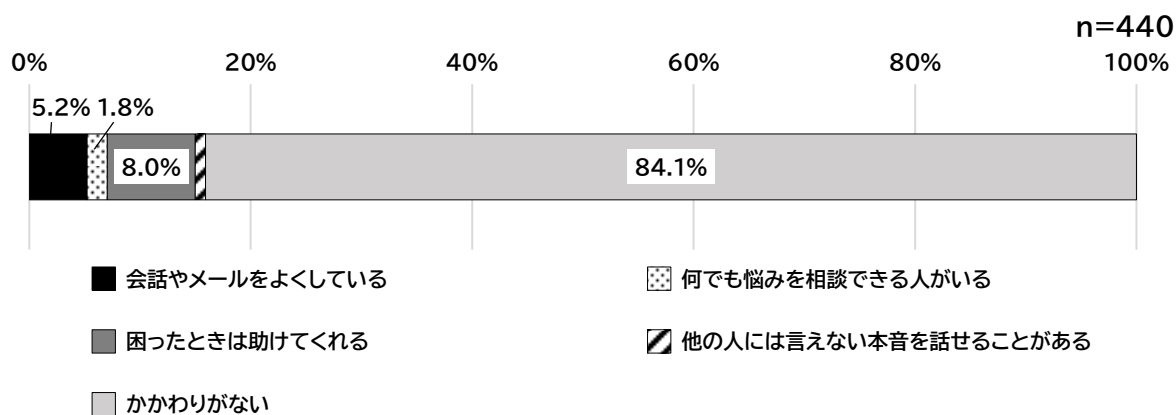
	会話やメールをよくしている	何でも悩みを相談できる人がある	困ったときは助けてくれる	他の人には言えない本音を話せることがある	かかわりがない
学生群 (n=164)	43.3%	10.4%	15.9%	5.5%	25.0%
正社員群 (n=206)	23.8%	6.8%	10.7%	4.9%	53.9%
非正社員群 (n=57)	22.8%	3.5%	10.5%	8.8%	54.4%
無職群 (n=13)	30.8%	7.7%	7.7%	0.0%	53.8%

(d) 地域の人とのかかわり(近所の人、町内会などの友人、消防団などの地域活動での知人、参加している NPO 法人など)

「かかわりがない」が 84.1%と最も多く、次いで「困ったときは助けてくれる」が 8.0%、「会話やメールをよくしている」が 5.2%、「何でも悩みを相談できる人がいる」が 1.8%となっています。

年齢層別にみると、「16～19 歳」は「20～24 歳」と「25～29 歳」と比べて、「困ったときは助けてくれる」の割合が高くなっています。

現在の仕事別にみると、「学生群」は「正社員群」「非正社員群」「無職群」と比べて、「困ったときは助けてくれる」の割合が高くなっています。



※補足※

他の人には言えない本音を話せることがある 0.9%

【年齢層別 地域の人とのかかわり】

	会話やメールをよくしている	何でも悩みを相談できる人がいる	困ったときは助けてくれる	他の人には言えない本音を話せることがある	かかわりがない
16～19 歳 (n=99)	8.1%	1.0%	15.2%	0.0%	75.8%
20～24 歳 (n=142)	3.5%	2.1%	9.2%	1.4%	83.8%
25～29 歳 (n=199)	5.0%	2.0%	3.5%	1.0%	88.4%

【現在の仕事別 地域の人とのかかわり】

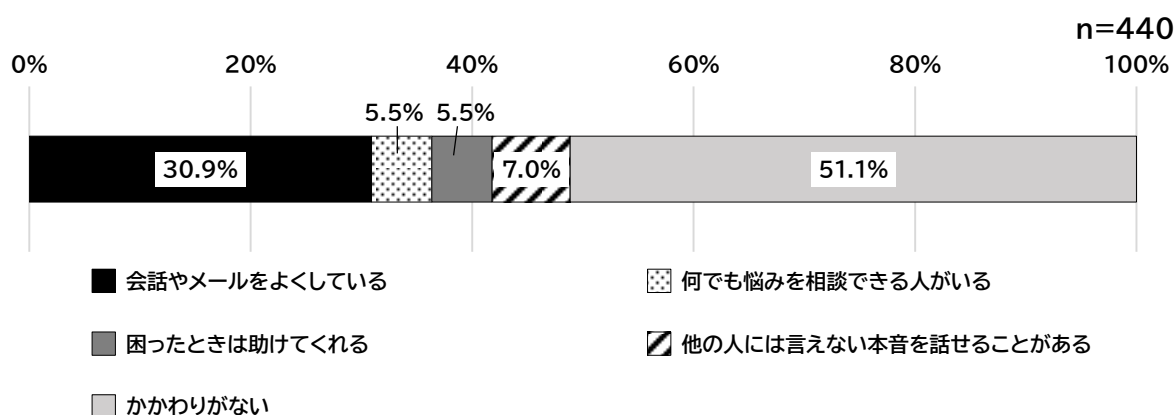
	会話やメールをよくしている	何でも悩みを相談できる人がいる	困ったときは助けてくれる	他の人には言えない本音を話せることがある	かかわりがない
学生群 (n=164)	6.7%	1.2%	13.4%	0.6%	78.0%
正社員群 (n=206)	4.4%	2.9%	3.9%	0.5%	88.3%
非正社員群 (n=57)	3.5%	0.0%	8.8%	1.8%	86.0%
無職群 (n=13)	7.7%	0.0%	0.0%	7.7%	84.6%

(e) SNS などのインターネット上での友人や知り合いとのかかわり

「かかわりがない」が 51.1%と最も多く、次いで「会話やメールをよくしている」が 30.9%、「他の人には言えない本音を話せることがある」が 7.0%、「何でも悩みを相談できる人がいる」と「困ったときは助けてくれる」が 5.5%となっています。

年齢層別にみると、「16～19 歳」は「20～24 歳」と「25～29 歳」と比べて、「他の人には言えない本音を話せることがある」の割合が高くなっています。

現在の仕事別にみると、「無職群」は「学生群」「正社員群」「非正社員群」と比べて、「何でも悩みを相談できる人がいる」の割合が高くなっています。



【年齢層別 SNS などのインターネット上での友人や知り合いとのかかわり】

	会話やメールをよくしている	何でも悩みを相談できる人がいる	困ったときは助けてくれる	他の人には言えない本音を話せることがある	かかわりがない
16～19 歳 (n=99)	40.4%	2.0%	0.0%	11.1%	46.5%
20～24 歳 (n=142)	30.3%	4.9%	6.3%	2.8%	55.6%
25～29 歳 (n=199)	26.6%	7.5%	7.5%	8.0%	50.3%

【現在の仕事別 SNS などのインターネット上での友人や知り合いとのかかわり】

	会話やメールをよくしている	何でも悩みを相談できる人がいる	困ったときは助けてくれる	他の人には言えない本音を話せることがある	かかわりがない
学生群 (n=164)	33.5%	2.4%	3.0%	6.7%	54.3%
正社員群 (n=206)	30.1%	5.8%	6.3%	4.4%	53.4%
非正社員群 (n=57)	29.8%	8.8%	7.0%	19.3%	35.1%
無職群 (n=13)	15.4%	23.1%	15.4%	0.0%	46.2%

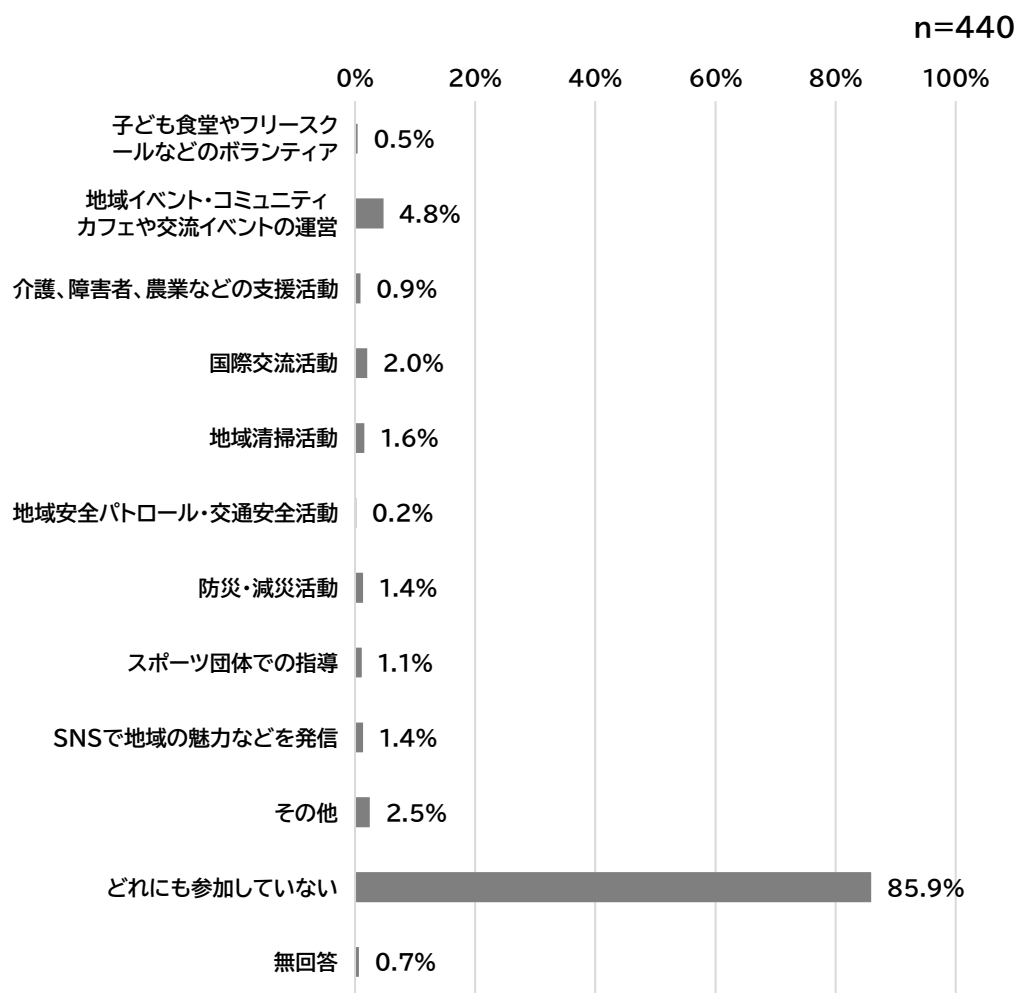
4. 社会参加

問 8-1 あなたが参加している、まちづくり活動(仕事以外で行っている活動、地域の活動や行事)などは何ですか。【複数回答】

「どれにも参加していない」が 85.9%と最も多く、次いで「地域イベント・コミュニティカフェや交流イベントの運営」が 4.8%、「国際交流活動」が 2.0%、「地域清掃活動」が 1.6%、「防災・減災活動」と「SNS で地域の魅力などを発信」が 1.4%となっています。

年齢層別にみると、すべての年齢層で「どれにも参加していない」が最も多いものの、「16～19 歳」と「20～24 歳」は様々なまちづくり活動に参加している人が多く、活動の幅が広がっています。

現在の仕事別にみると、すべての群で「どれにも参加していない」が最も多いものの、「学生群」は様々なまちづくり活動に参加している人が多く、活動の幅が広がっています。また、「学生群」「正社員群」「非正社員群」のいずれも、「地域イベント・コミュニティカフェや交流イベントの運営」と「国際交流活動」に参加している人がいます。



【年齢層別 あなたが参加しているまちづくり活動】

	子ども食堂やフリースクールなどのボランティア	地域イベント・コミュニティカフェや交流イベントの運営	介護、障害者、農業などの支援活動	国際交流活動	地域清掃活動	地域安全パトロール・交通安全活動	防災・減災活動	スポーツ団体での指導	SNSで地域の魅力などを発信	その他	どれにも参加していない	無回答
16～19 歳 (n=99)	2.0%	4.0%	2.0%	1.0%	3.0%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	3.0%	83.8%	1.0%
20～24 歳 (n=142)	0.0%	5.6%	0.0%	4.2%	2.1%	0.7%	2.8%	2.8%	1.4%	3.5%	83.1%	0.7%
25～29 歳 (n=199)	0.0%	4.5%	1.0%	1.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.5%	2.0%	1.5%	88.9%	0.5%

【現在の仕事別 あなたが参加しているまちづくり活動】

	子ども食堂やフリースクールなどのボランティア	地域イベント・コミュニティカフェや交流イベントの運営	介護、障害者、農業などの支援活動	国際交流活動	地域清掃活動	地域安全パトロール・交通安全活動	防災・減災活動	スポーツ団体での指導	SNSで地域の魅力などを発信	その他	どれにも参加していない	無回答
学生群 (n=164)	1.2%	6.7%	1.2%	3.0%	3.0%	0.6%	2.4%	2.4%	1.2%	3.7%	79.3%	0.6%
正社員群 (n=206)	0.0%	3.9%	1.0%	1.0%	1.0%	0.0%	0.5%	0.0%	1.9%	1.9%	89.3%	0.5%
非正社員群 (n=57)	0.0%	3.5%	0.0%	3.5%	0.0%	0.0%	1.8%	1.8%	0.0%	1.8%	89.5%	1.8%
無職群 (n=13)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

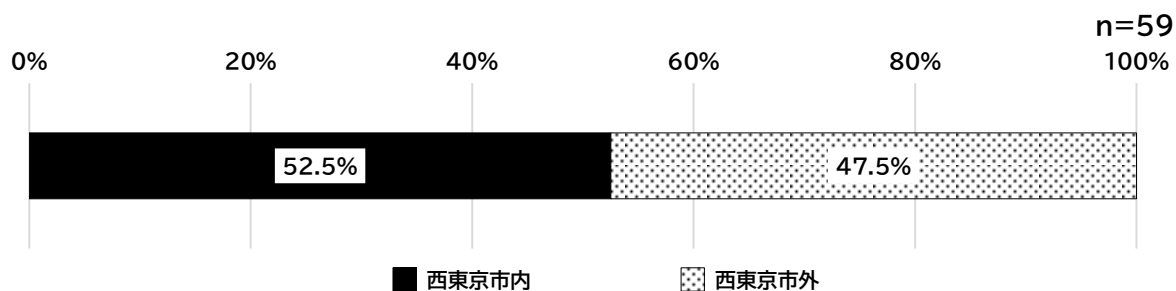
◆問 8-1 で「どれにも参加していない」以外を選択した方◆

問 8-2 主に参加しているまちづくり活動の活動場所はどこですか。【単数回答】

活動場所は「西東京市内」が 52.5%、「西東京市外」が 47.5%となっています。

年齢層別にみると、「16～19 歳」は「西東京市外」、「20～24 歳」と「25～29 歳」は「西東京市内」が多くなっています。

活動場所別に地域の人とのかかわりをみると、「西東京市内」で活動している人は「西東京市外」で活動している人と比べて、地域の人との「かかわりがない」の割合が低く、「困ったときは助けてくれる」の割合が高くなっています。



【年齢層別 主に参加しているまちづくり活動の活動場所】

	西東京市内	西東京市外
16～19 歳 (n=15)	40.0%	60.0%
20～24 歳 (n=23)	52.2%	47.8%
25～29 歳 (n=21)	61.9%	38.1%

【活動場所別 問 7(d)地域の人とのかかわり】

	会話やメールをよくしている	何でも悩みを相談できる人がある	困ったときは助けてくれる	他の人には言えない本音を話せることがある	かかわりがない
西東京市内 (n=31)	16.1%	6.5%	25.8%	3.2%	48.4%
西東京市外 (n=28)	14.3%	3.6%	7.1%	0.0%	75.0%

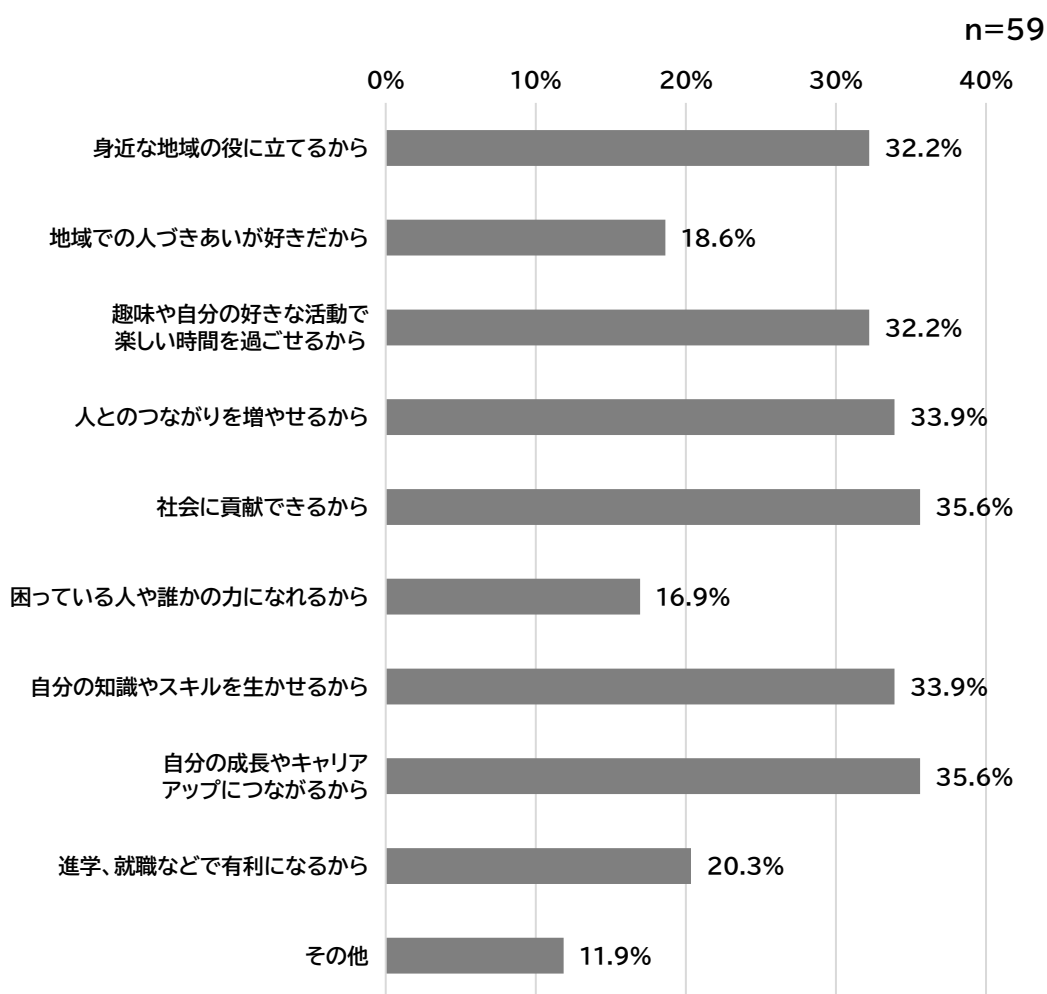
◆問 8-1 で「どれにも参加していない」以外を選択した方◆

問 9-1 参加している理由は何ですか。【複数回答】

「社会に貢献できるから」と「自分の成長やキャリアアップにつながるから」が 35.6%と最も多く、次いで「人とのつながりを増やせるから」と「自分の知識やスキルを生かせるから」が 33.9%、「身近な地域の役に立てるから」と「趣味や自分の好きな活動で楽しい時間を過ごせるから」が 32.2%となっています。

年齢層別にみると、「16～19 歳」は「自分の成長やキャリアアップにつながるから」、「20～24 歳」は「人とのつながりを増やせるから」、「25～29 歳」は「趣味や自分の好きな活動で楽しい時間を過ごせるから」が最も多くなっています。

参加しているまちづくり活動別にみると、「地域イベント・コミュニティカフェや交流イベントの運営」は「社会に貢献できるから」、「国際交流活動」は「自分の成長やキャリアアップにつながるから」、「地域清掃活動」は「身近な地域の役に立てるから」が最も多くなっています。



【主な「その他」回答】

- ・学校の活動の一環だから 3 件
- ・仕方なく 2 件 等

【年齢層別 まちづくり活動に参加している理由】

	身近な地域の役に立て るから	地域での人 づきあい が好きだから	趣味や自 分の好きな活 動で楽しい 時間を過 せるから	人とのつな がりを増や せるから	社会に貢 献できる から	困っている 人や誰かの 力になれる から	自分の知識 やスキルを 生かせるか ら	自分の成長 やキャリアア ップにつな がるから	進学、就職 などで有利 になるから	その他
16～19 歳 (n=15)	33.3%	13.3%	20.0%	20.0%	46.7%	20.0%	40.0%	53.3%	33.3%	13.3%
20～24 歳 (n=23)	26.1%	17.4%	26.1%	52.2%	26.1%	17.4%	34.8%	39.1%	26.1%	8.7%
25～29 歳 (n=21)	38.1%	23.8%	47.6%	23.8%	38.1%	14.3%	28.6%	19.0%	4.8%	14.3%

【参加しているまちづくり活動別 まちづくり活動に参加している理由】

	身近な地域の役に立て るから	地域での人 づきあい が好きだから	趣味や自 分の好きな活 動で楽しい 時間を過 せるから	人とのつな がりを増や せるから	社会に貢 献できる から	困っている 人や誰かの 力になれる から	自分の知識 やスキルを 生かせるか ら	自分の成長 やキャリアア ップにつな がるから	進学、就職 などで有利 になるから	その他
子ども食堂やフリースクールなどのボランティア (n=2)	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	100.0%	50.0%	0.0%
地域イベント・コミュニティカフェや交流イベントの運営 (n=21)	33.3%	28.6%	38.1%	38.1%	52.4%	9.5%	33.3%	23.8%	23.8%	9.5%
介護、障害者、農業などの支援活動 (n=4)	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%
国際交流活動 (n=9)	33.3%	0.0%	22.2%	33.3%	33.3%	22.2%	33.3%	55.6%	33.3%	11.1%
地域清掃活動 (n=7)	42.9%	14.3%	14.3%	28.6%	14.3%	0.0%	28.6%	28.6%	14.3%	28.6%
地域安全パトロール・交通安全活動 (n=1)	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
防災・減災活動 (n=6)	16.7%	16.7%	0.0%	50.0%	33.3%	16.7%	16.7%	50.0%	0.0%	0.0%
スポーツ団体での指導 (n=5)	20.0%	20.0%	80.0%	60.0%	20.0%	40.0%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%
SNS で地域の魅力などを発信 (n=6)	66.7%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%
その他 (n=11)	45.5%	18.2%	18.2%	72.7%	36.4%	18.2%	36.4%	36.4%	27.3%	18.2%

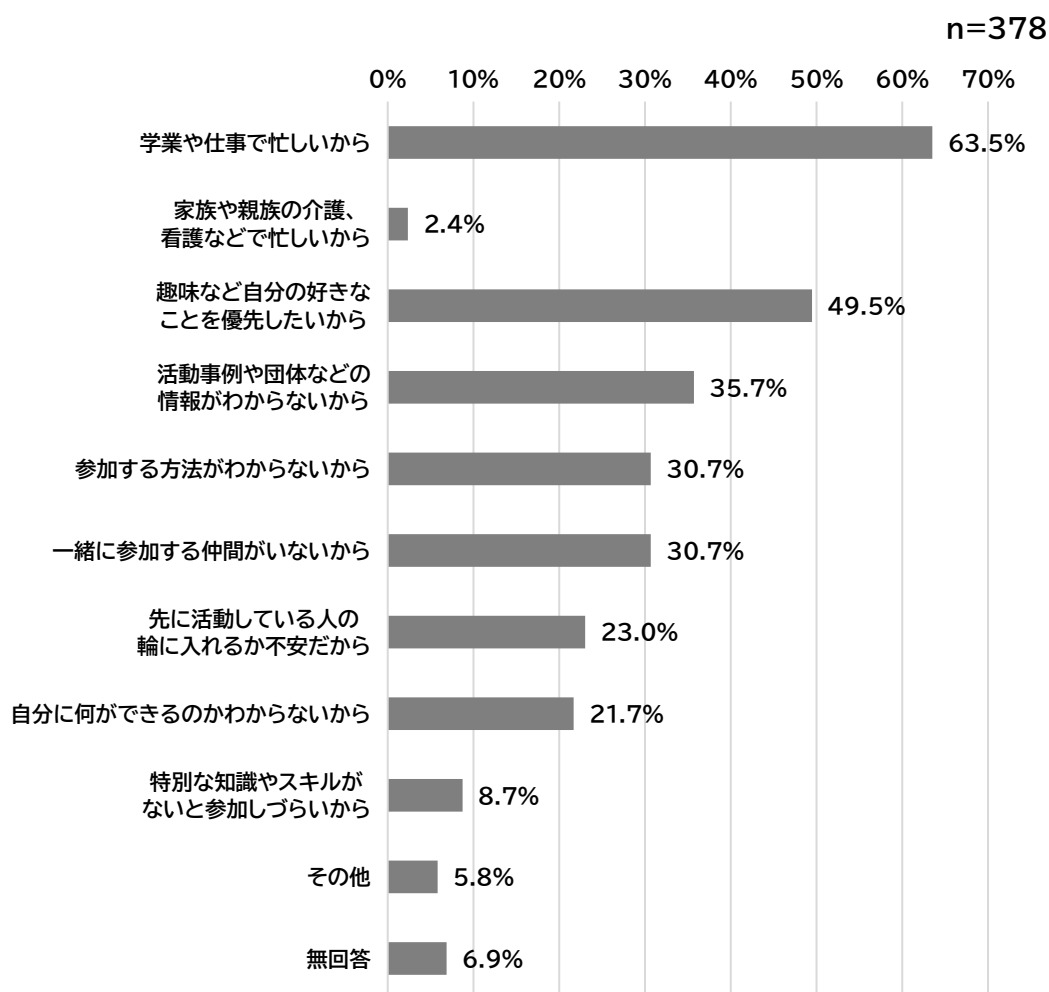
◆問 8-1 で「どれにも参加していない」を選択した方◆

問 9-2 参加していない理由は何ですか。【複数回答】

「学業や仕事で忙しいから」が 63.5%と最も多く、次いで「趣味など自分の好きなことを優先したいから」が 49.5%、「活動事例や団体などの情報がわからないから」が 35.7%、「参加する方法がわからないから」と「一緒に参加する仲間がいないから」が 30.7%となっています。

年齢層別にみると、全年齢層で「学業や仕事で忙しいから」が最も多くなっており、年齢が低い層ほど、割合が高くなっています。

現在の仕事別にみると、「学生群」と「正社員群」は「学業や仕事で忙しいから」、「非正社員群」は「趣味など自分の好きなことを優先したいから」、「無職群」は「先に活動している人の輪に入れるか不安だから」が最も多くなっています。



【主な「その他」回答】

・興味がない・やりたくない 7 件 等

【年齢層別 まちづくり活動に参加していない理由】

	学業や仕事で忙しいから	家族や親族の介護、看護などで忙しいから	趣味など自分の好きなことを優先したいから	活動事例や団体などの情報がわからないから	参加する方法がわからないから	一緒に参加する仲間がいないから	先に活動している人の輪に入れるか不安だから	自分に何ができるのかわからないから	特別な知識やスキルがないと参加しづらいから	その他	無回答
16～19 歳 (n=83)	77.1%	1.2%	50.6%	41.0%	31.3%	30.1%	14.5%	20.5%	8.4%	7.2%	6.0%
20～24 歳 (n=118)	63.6%	0.0%	50.0%	37.3%	35.6%	27.1%	23.7%	22.9%	8.5%	3.4%	8.5%
25～29 歳 (n=177)	57.1%	4.5%	48.6%	32.2%	27.1%	33.3%	26.6%	21.5%	9.0%	6.8%	6.2%

【現在の仕事別 まちづくり活動に参加していない理由】

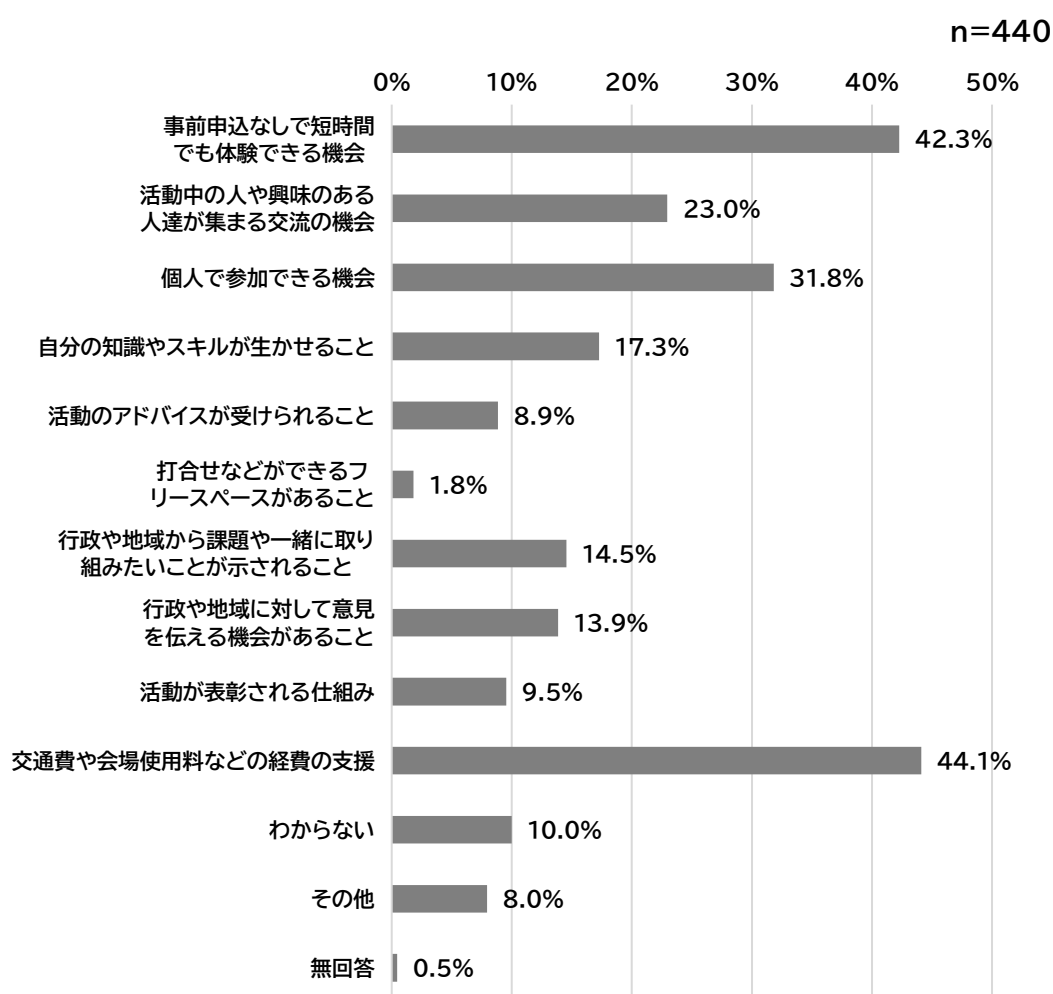
	学業や仕事で忙しいから	家族や親族の介護、看護などで忙しいから	趣味など自分の好きなことを優先したいから	活動事例や団体などの情報がわからないから	参加する方法がわからないから	一緒に参加する仲間がいないから	先に活動している人の輪に入れるか不安だから	自分に何ができるのかわからないから	特別な知識やスキルがないと参加しづらいから	その他	無回答
学生群 (n=130)	75.4%	0.8%	50.8%	39.2%	34.6%	33.8%	22.3%	21.5%	7.7%	6.2%	3.8%
正社員群 (n=184)	63.0%	2.7%	48.4%	36.4%	26.6%	27.7%	21.2%	20.7%	7.1%	4.3%	8.2%
非正社員群 (n=51)	45.1%	0.0%	52.9%	29.4%	33.3%	31.4%	25.5%	25.5%	17.6%	5.9%	9.8%
無職群 (n=13)	23.1%	23.1%	38.5%	15.4%	38.5%	38.5%	46.2%	23.1%	7.7%	23.1%	7.7%

問 10 これまで以上に、まちづくり活動(仕事以外の市内で行う活動、地域の活動や行事)に参加する若者が増えるためには、何が重要だと思いますか。【3 つまで回答】

「交通費や会場使用料などの経費の支援」が 44.1%と最も多く、次いで「事前申込なしで短時間でも体験できる機会」が 42.3%、「個人で参加できる機会」が 31.8%、「活動中の人や興味のある人達が集まる交流の機会」が 23.0%、「自分の知識やスキルが生かせること」が 17.3%となっています。

年齢層別にみると、「16～19 歳」と「20～24 歳」は「事前申込なしで短時間でも体験できる機会」、「25～29 歳」は「交通費や会場使用料などの経費の支援」が最も多くなっています。

活動参加別にみると、「活動に参加している」人も「活動に参加していない」人も「交通費や会場使用料などの経費の支援」が最も多く、次いで「事前申込なしで短時間でも体験できる機会」となっています。「活動に参加していない」人は、「交通費や会場使用料などの経費の支援」が 43.7%、「事前申込なしで短時間でも体験できる機会」が 42.9%と上位 2 つの割合にほとんど差がありませんでした。



【主な「その他」回答】

- ・プロモーション 11 件
- ・報酬・特典 8 件
- ・同年代の参加者が多いこと 2 件 等

【年齢層別 まちづくり活動に参加する若者が増えるため重要なこと】

	事前申込なしで短時間でも体験できる機会	活動中の人や興味のある人達が集まる交流の機会	個人で参加できる機会	自分の知識やスキルが生かせること	活動のアドバイスが受けられること	打合せなどができるフリースペースがあること	行政や地域から課題や一緒に取り組みたいことが示されること	行政や地域に対して意見を伝える機会があること	活動が表彰される仕組み	交通費や会場使用料などの経費の支援	わからない	その他	無回答
16～19 歳 (n=99)	48.5%	23.2%	26.3%	28.3%	9.1%	1.0%	14.1%	21.2%	17.2%	39.4%	7.1%	7.1%	0.0%
20～24 歳 (n=142)	40.1%	19.0%	33.1%	14.1%	9.9%	1.4%	15.5%	10.6%	8.5%	39.4%	12.7%	7.0%	0.7%
25～29 歳 (n=199)	40.7%	25.6%	33.7%	14.1%	8.0%	2.5%	14.1%	12.6%	6.5%	49.7%	9.5%	9.0%	0.5%

【活動参加別 まちづくり活動に参加する若者が増えるため重要なこと】

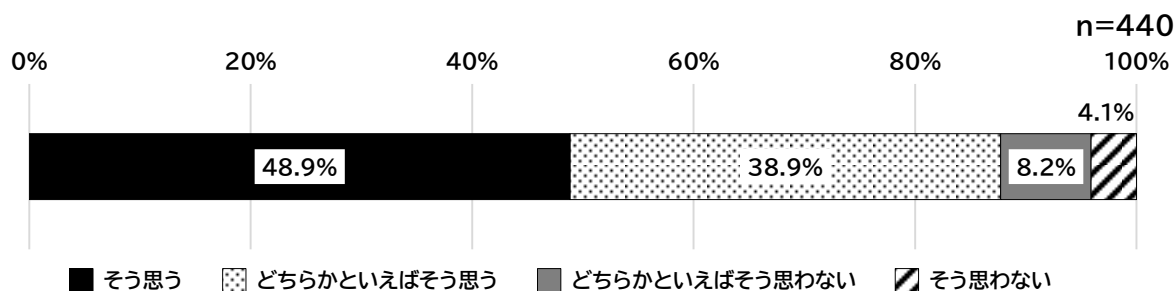
	事前申込なしで短時間でも体験できる機会	活動中の人や興味のある人達が集まる交流の機会	個人で参加できる機会	自分の知識やスキルが生かせること	活動のアドバイスが受けられること	打合せなどができるフリースペースがあること	行政や地域から課題や一緒に取り組みたいことが示されること	行政や地域に対して意見を伝える機会があること	活動が表彰される仕組み	交通費や会場使用料などの経費の支援	わからない	その他	無回答
活動に参加している (n=59)	39.0%	23.7%	25.4%	27.1%	11.9%	5.1%	13.6%	18.6%	15.3%	47.5%	5.1%	10.2%	0.0%
活動に参加していない (n=378)	42.9%	22.8%	32.8%	15.6%	8.5%	1.3%	14.8%	13.2%	8.7%	43.7%	10.6%	7.7%	0.5%

5. 人生観・充実度・将来像

問 11 あなたは、今、幸せだと思いますか。【単数回答】

「そう思う」が 48.9%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 38.9%、「どちらかといえばそう思わない」が 8.2%、「そう思わない」が 4.1%となっています。

年齢層別にみると、全年齢層で「そう思う」が最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」となっています。「16～19 歳」は「20～24 歳」と「25～29 歳」と比べて、「どちらかといえばそう思わない」の割合が高く、「20～24 歳」は「16～19 歳」と「25～29 歳」と比べて、「そう思わない」の割合が高くなっています。



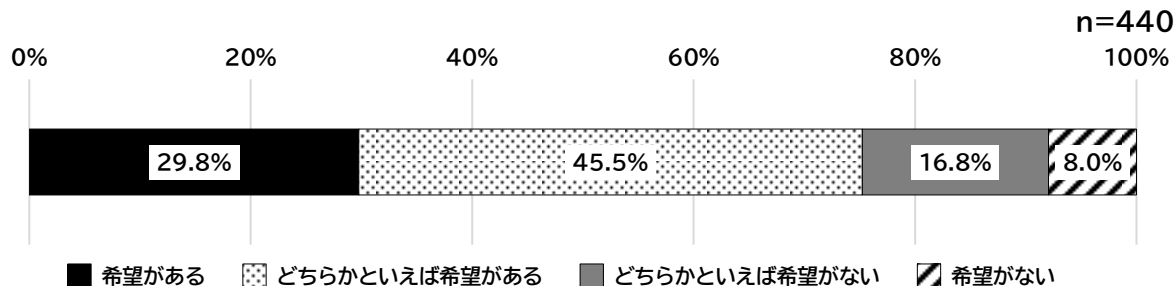
【年齢層別 今、幸せだと思うか】

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
16～19 歳 (n=99)	48.5%	38.4%	11.1%	2.0%
20～24 歳 (n=142)	50.7%	38.0%	4.9%	6.3%
25～29 歳 (n=199)	47.7%	39.7%	9.0%	3.5%

問 12 あなたは、自分の将来に希望を持っていますか。【単数回答】

「どちらかといえば希望がある」が 45.5%と最も多く、次いで「希望がある」が 29.8%、「どちらかといえば希望がない」が 16.8%、「希望がない」が 8.0%となっています。

年齢層別にみると、「希望がある」と「どちらかといえば希望がある」の合計は、「16～19 歳」で 75.8%、「20～24 歳」で 82.4%、「25～29 歳」で 69.8%となっています。



【年齢層別 自分の将来に希望を持っているか】

	希望がある	どちらかといえば希望がある	どちらかといえば希望がない	希望がない
16～19 歳 (n=99)	35.4%	40.4%	19.2%	5.1%
20～24 歳 (n=142)	33.1%	49.3%	12.0%	5.6%
25～29 歳 (n=199)	24.6%	45.2%	19.1%	11.1%

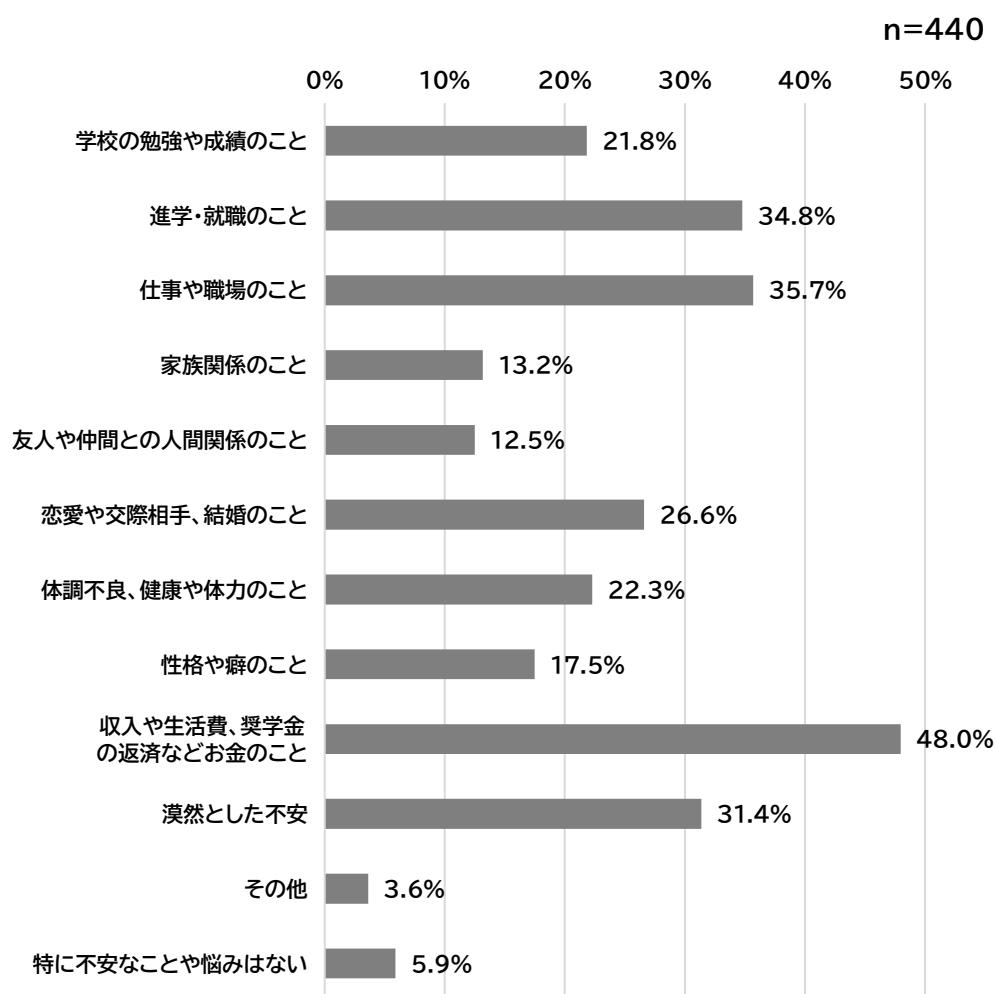
6. 相談・支援

問 13 あなたは、現在不安なことや悩みはありますか。【複数回答】

「収入や生活費、奨学金の返済などお金のこと」が 48.0%と最も多く、次いで「仕事や職場のこと」が 35.7%、「進学・就職のこと」が 34.8%、「漠然とした不安」が 31.4%、「恋愛や交際相手、結婚のこと」が 26.6%となっています。

年齢層別にみると、「16～19 歳」は「進学・就職のこと」、「20～24 歳」と「25～29 歳」は「収入や生活費、奨学金の返済などお金のこと」が最も多くなっています。

現在の仕事別にみると、「学生群」は「進学・就職のこと」、「正社員群」は「仕事や職場のこと」、「非正社員群」と「無職群」は「収入や生活費、奨学金の返済などお金のこと」が最も多くなっています。



【主な「その他」回答】

- ・出産・子育て 6 件
- ・日本の未来 2 件 等

【年齢層別 現在不安なことや悩み】

	学校の勉強や成績のこと	進学・就職のこと	仕事や職場のこと	家族関係のこと	友人や仲間との人間関係のこと	恋愛や交際相手、結婚のこと	体調不良、健康や体力のこと	性格や癖のこと	収入や生活費、奨学金の返済などお金のこと	漠然とした不安	その他	特に不安なことや悩みはない
16～19 歳 (n=99)	65.7%	77.8%	10.1%	11.1%	26.3%	20.2%	13.1%	23.2%	20.2%	31.3%	0.0%	7.1%
20～24 歳 (n=142)	19.0%	39.4%	32.4%	9.2%	10.6%	29.6%	20.4%	16.9%	41.5%	31.7%	1.4%	7.0%
25～29 歳 (n=199)	2.0%	10.1%	50.8%	17.1%	7.0%	27.6%	28.1%	15.1%	66.3%	31.2%	7.0%	4.5%

【現在の仕事別 現在不安なことや悩み】

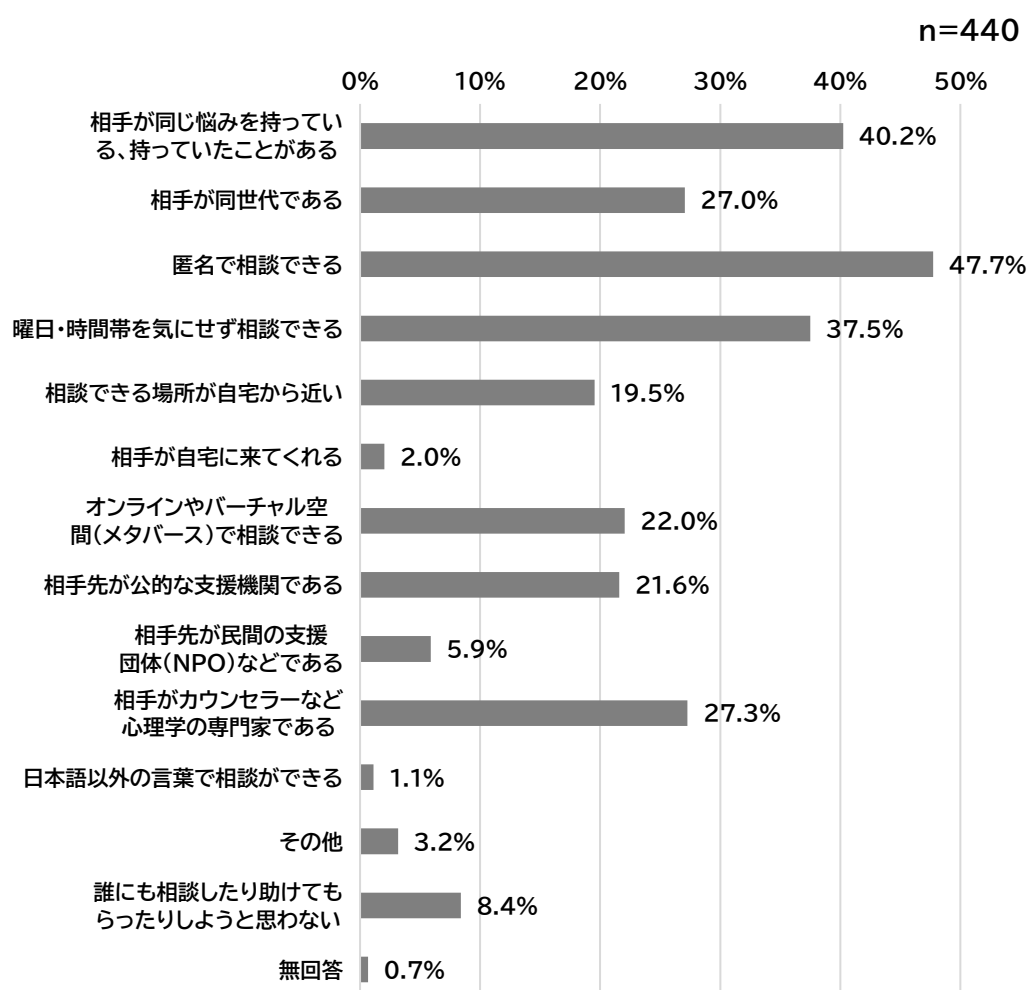
	学校の勉強や成績のこと	進学・就職のこと	仕事や職場のこと	家族関係のこと	友人や仲間との人間関係のこと	恋愛や交際相手、結婚のこと	体調不良、健康や体力のこと	性格や癖のこと	収入や生活費、奨学金の返済などお金のこと	漠然とした不安	その他	特に不安なことや悩みはない
学生群 (n=164)	56.1%	75.6%	8.5%	10.4%	20.7%	21.3%	15.9%	22.6%	27.4%	33.5%	0.0%	5.5%
正社員群 (n=206)	0.5%	3.9%	55.3%	13.6%	5.8%	32.0%	21.4%	11.2%	54.9%	27.7%	6.8%	6.3%
非正社員群 (n=57)	1.8%	24.6%	43.9%	15.8%	12.3%	24.6%	40.4%	19.3%	77.2%	33.3%	0.0%	3.5%
無職群 (n=13)	15.4%	53.8%	30.8%	30.8%	15.4%	15.4%	38.5%	46.2%	69.2%	53.8%	15.4%	15.4%

問 14 あなたが、社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態となったときに、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人や場所なら、相談したいと思いますか。【複数回答】

「匿名で相談できる」が 47.7%と最も多く、次いで「相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある」が 40.2%、「曜日・時間帯を気にせず相談できる」が 37.5%、「相手がカウンセラーなど心理学の専門家である」が 27.3%、「相手が同世代である」が 27.0%となっています。

年齢層別にみると、全年齢層で「匿名で相談できる」が最も多く、次いで「16～19 歳」と「20～24 歳」は「相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある」、「25～29 歳」は「曜日・時間帯を気にせず相談できる」が多くなっています。

現在の仕事別にみると、「学生群」と「正社員群」と「非正社員群」は「匿名で相談できる」、「無職群」は「相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある」と「相談できる場所が自宅から近い」が最も多くなっています。



【主な「その他」回答】

・人間性がきちんとしている人・尊敬できる人 2 件 等

【年齢層別 社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態のとき相談したい人や場所】

	相手が 同じ悩み を持っている、持 っていたことがある	相手が 同世代 である	匿名で 相談で きる	曜日・時 間帯を 気にせ ず相談 できる	相談で きる場 所が自 宅から 近い	相手が 自宅に 来てくれ る	オンライ ンやバー チャル空 間(メタ バース) で相談 できる	相手先 が公的 な支援 機関で ある	相手先 が民間 の支援 団体 (NPO) などで ある	相手が カウンセ ラーなど 心理学 の専門 家である	日本語 以外の 言葉で 相談が できる	その他	誰にも 相談した り助けて もらっ たと思う わない	無回答
16～19 歳 (n=99)	45.5%	37.4%	46.5%	31.3%	13.1%	2.0%	19.2%	13.1%	3.0%	22.2%	2.0%	3.0%	9.1%	2.0%
20～24 歳 (n=142)	45.8%	23.2%	50.7%	34.5%	18.3%	1.4%	21.8%	18.3%	5.6%	26.1%	0.7%	2.8%	9.9%	0.0%
25～29 歳 (n=199)	33.7%	24.6%	46.2%	42.7%	23.6%	2.5%	23.6%	28.1%	7.5%	30.7%	1.0%	3.5%	7.0%	0.5%

【現在の仕事別 社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態のとき相談したい人や場所】

	相手が 同じ悩み を持っている、持 っていたことがある	相手が 同世代 である	匿名で 相談で きる	曜日・時 間帯を 気にせ ず相談 できる	相談で きる場 所が自 宅から 近い	相手が 自宅に 来てくれ る	オンライ ンやバー チャル空 間(メタ バース) で相談 できる	相手先 が公的 な支援 機関で ある	相手先 が民間 の支援 団体 (NPO) などで ある	相手が カウンセ ラーなど 心理学 の専門 家である	日本語 以外の 言葉で 相談が できる	その他	誰にも 相談した り助けて もらっ たと思う わない	無回答
学生群 (n=164)	45.1%	31.7%	50.0%	29.9%	12.8%	1.8%	18.9%	15.9%	3.0%	22.0%	1.8%	3.0%	7.3%	1.2%
正社員群 (n=206)	40.3%	24.8%	47.1%	41.7%	22.8%	2.9%	21.8%	25.7%	7.8%	31.6%	0.5%	3.4%	5.8%	0.5%
非正社員群 (n=57)	22.8%	17.5%	43.9%	42.1%	19.3%	0.0%	26.3%	17.5%	5.3%	26.3%	1.8%	3.5%	21.1%	0.0%
無職群 (n=13)	53.8%	46.2%	46.2%	46.2%	53.8%	0.0%	46.2%	46.2%	15.4%	30.8%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%

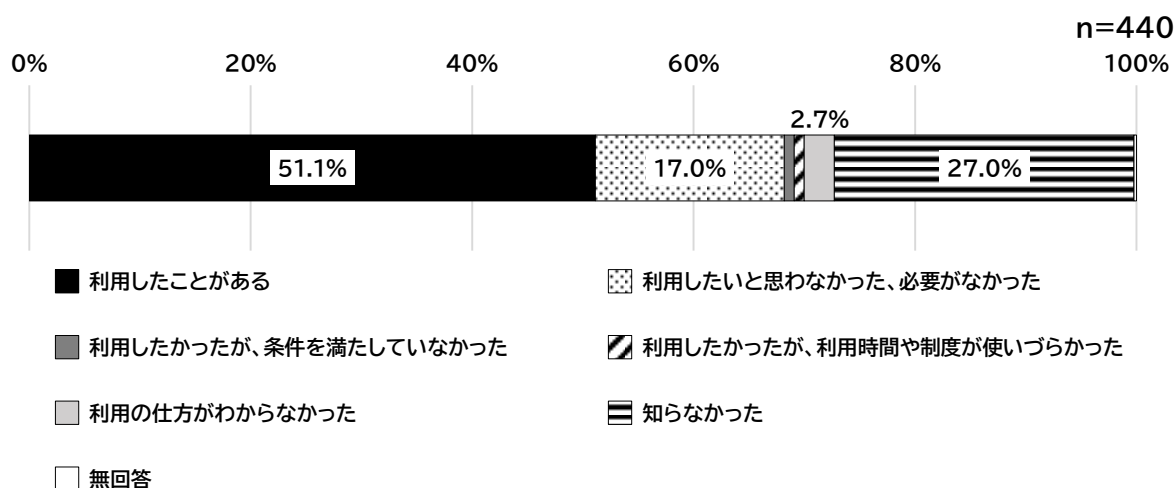
問 15 あなたは、子ども・若者を対象とした育成支援機関等を利用したことがありますか。【各設問
単数回答】

a) 児童館・児童センター

市内に在住するおおむね 18 歳までの子どもとその保護者の方を対象に、年齢の異なる子どもたちが一緒に遊んだり、さまざまな体験をしながら、ともに育っていくことを目的とした「地域の遊び場（児童福祉法に基づく児童厚生施設）」です。

「利用したことがある」が 51.1%と最も多く、次いで「知らなかった」が 27.0%、「利用したいと思わなかった、必要がなかった」が 17.0%、「利用の仕方がわからなかった」が 2.7%となっています。

年齢層別にみると、全年齢層で「利用したことがある」が最も多く、次いで「知らなかった」、「利用したいと思わなかった、必要がなかった」となっていますが、「25～29 歳」は「利用したことがある」が「16～19 歳」と「20～24 歳」と比べて少なく、「知らなかった」が「16～19 歳」と「20～24 歳」と比べて多くなっています。



※補足※

利用したかったが、条件を満たしていなかった 0.9%

利用したかったが、利用時間や制度が使いづらかった 0.9%

無回答 0.2%

【年齢層別 児童館・児童センターの利用状況】

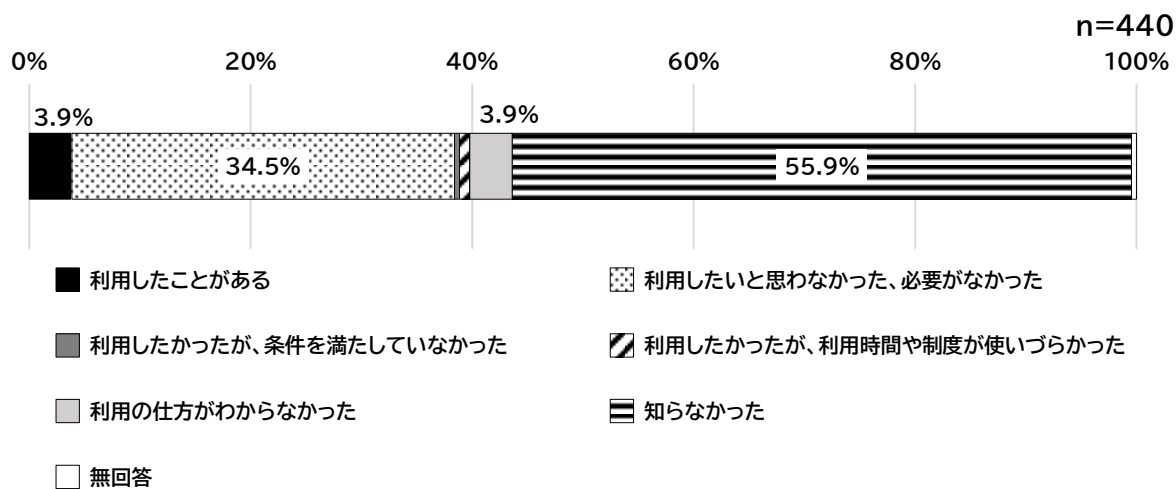
	利用したことがある	利用したいと思わなかった、必要がなかった	利用したかったが、条件を満たしていなかった	利用したかったが、利用時間や制度が使いづらかった	利用の仕方がわからなかった	知らなかった	無回答
16～19 歳 (n=99)	67.7%	13.1%	0.0%	1.0%	2.0%	16.2%	0.0%
20～24 歳 (n=142)	59.9%	13.4%	0.7%	0.0%	1.4%	23.9%	0.7%
25～29 歳 (n=199)	36.7%	21.6%	1.5%	1.5%	4.0%	34.7%	0.0%

b) 子ども相談室 ほっとルーム

市内に在住、在勤、在学その他市内で活動する原則 18 歳未満の子どもを対象に、困ったこと・悩んでいること・誰に相談してよいかわからないことなど、どんなことでも子ども自身が相談できる場所として、令和元年8月に開設しました。子どものことであれば、おとなも相談できます。

「知らなかった」が 55.9%と最も多く、次いで「利用したいと思わなかった、必要がなかった」が 34.5%、「利用したことがある」と「利用の仕方がわからなかった」が 3.9%となっています。

年齢層別にみると、「16～19 歳」は「利用したいと思わなかった、必要がなかった」、「20～24 歳」と「25～29 歳」は「知らなかった」が最も多くなっています。



※補足※

利用したかったが、条件を満たしていなかった 0.5%

利用したかったが、利用時間や制度が使いづらかった 0.9%

無回答 0.5%

【年齢層別 子ども相談室 ほっとルームの利用状況】

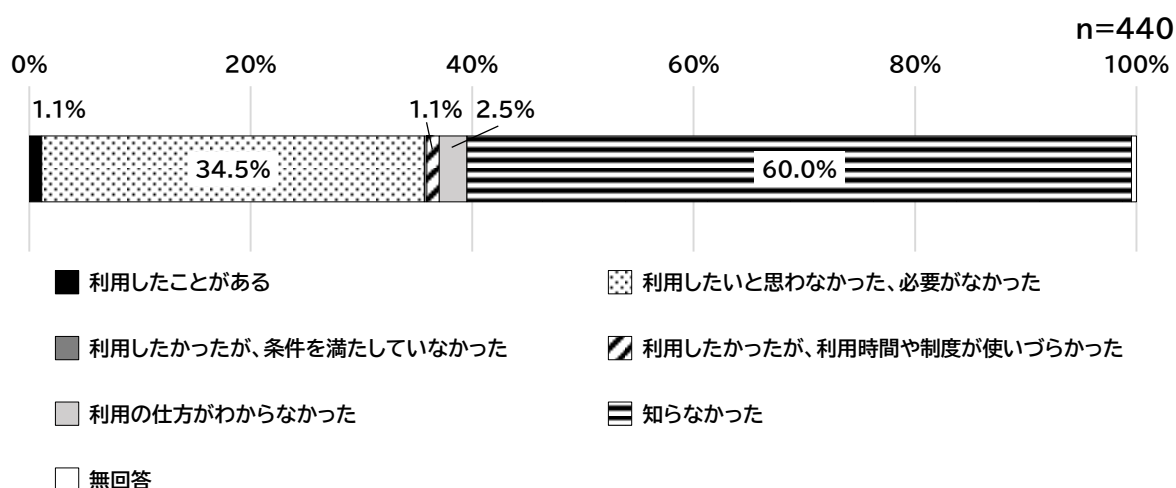
	利用したことがある	利用したいと思わなかった、必要がなかった	利用したかったが、条件を満たしていなかった	利用したかったが、利用時間や制度が使いづらかった	利用の仕方がわからなかった	知らなかった	無回答
16～19 歳 (n=99)	8.1%	56.6%	1.0%	2.0%	3.0%	29.3%	0.0%
20～24 歳 (n=142)	2.1%	31.7%	0.0%	1.4%	0.7%	63.4%	0.7%
25～29 歳 (n=199)	3.0%	25.6%	0.5%	0.0%	6.5%	63.8%	0.5%

c) 子どもLINE相談 いこいーな窓口@西東京

市内に在住、在勤、在学その他市内で活動するおおむね18 歳までの方を対象に、対面や電話で相談しづらいことも気軽にLINEで相談できる仕組みとして、令和5年8月に開設しました。

「知らなかった」が60.0%と最も多く、次いで「利用したいと思わなかった、必要がなかった」が34.5%、「利用の仕方がわからなかった」が2.5%、「利用したことがある」と「利用したかったが、利用時間や制度が使いづらかった」が1.1%となっています。

年齢層別にみると、「16～19 歳」は「利用したいと思わなかった、必要がなかった」、「20～24 歳」と「25～29 歳」は「知らなかった」が最も多くなっています。



※補足※

利用したかったが、条件を満たしていなかった 0.2%

無回答 0.5%

【年齢層別 子ども LINE 相談 いこいーな窓口@西東京の利用状況】

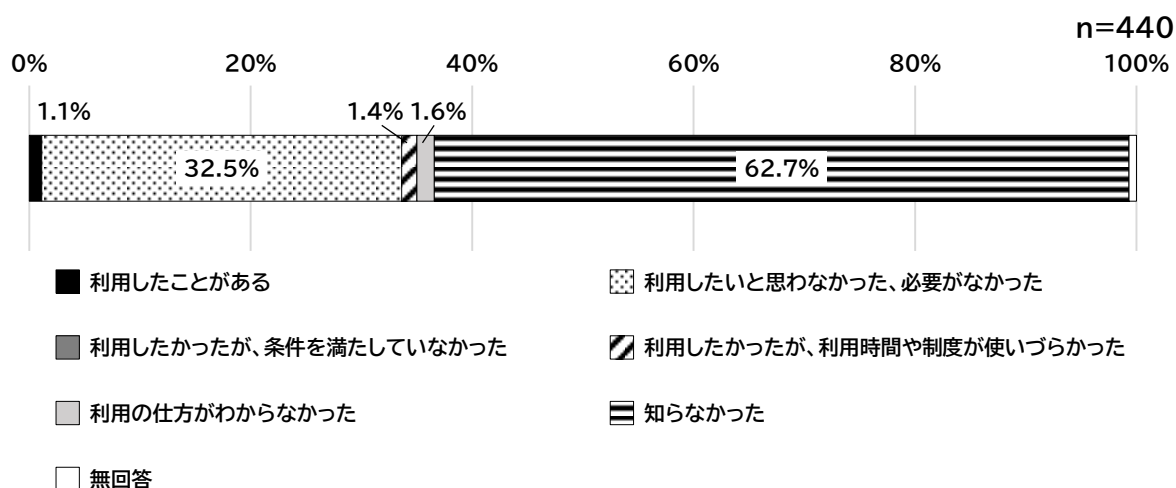
	利用したことがある	利用したいと思わなかった、必要がなかった	利用したかったが、条件を満たしていなかった	利用したかったが、利用時間や制度が使いづらかった	利用の仕方がわからなかった	知らなかった	無回答
16～19 歳 (n=99)	4.0%	57.6%	0.0%	3.0%	2.0%	33.3%	0.0%
20～24 歳 (n=142)	0.0%	28.9%	0.0%	1.4%	0.7%	68.3%	0.7%
25～29 歳 (n=199)	0.5%	27.1%	0.5%	0.0%	4.0%	67.3%	0.5%

d) LINE相談窓口 ころろHale・Hale@西東京市

市内に在住、在勤、在学その他市内で活動するおおむね18歳から39歳までの方を対象に、対面や電話で相談しづらいことについて気軽にLINEで相談できる仕組みとして、令和3年7月に開設しました。

「知らなかった」が62.7%と最も多く、次いで「利用したいと思わなかった、必要がなかった」が32.5%、「利用の仕方がわからなかった」が1.6%、「利用したかったが、利用時間や制度が使いづらかった」が1.4%、「利用したことがある」が1.1%となっています。

年齢層別にみると、「16～19歳」は「利用したいと思わなかった、必要がなかった」、「20～24歳」と「25～29歳」は「知らなかった」が最も多くなっています。



※補足※
無回答 0.7%

【年齢層別 LINE相談窓口 ころろHale・Hale@西東京市の利用状況】

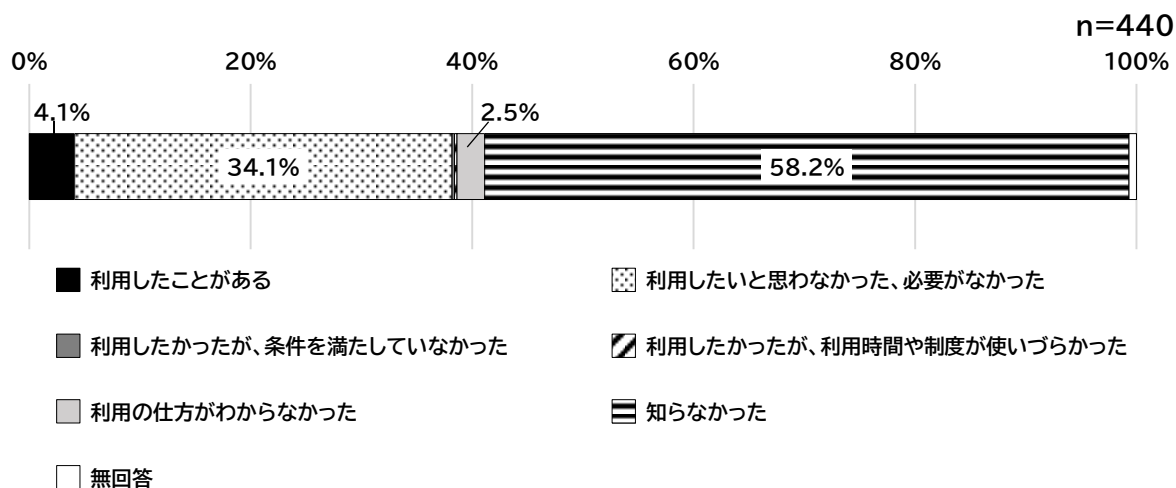
	利用したことがある	利用したいと思わなかった、必要がなかった	利用したかったが、条件を満たしていなかった	利用したかったが、利用時間や制度が使いづらかった	利用の仕方がわからなかった	知らなかった	無回答
16～19歳 (n=99)	3.0%	50.5%	0.0%	3.0%	1.0%	42.4%	0.0%
20～24歳 (n=142)	0.0%	28.2%	0.0%	1.4%	1.4%	67.6%	1.4%
25～29歳 (n=199)	1.0%	26.6%	0.0%	0.5%	2.0%	69.3%	0.5%

e) 教育相談・幼児相談

幼児から小学生、中学生、高校生の子どもについて、心身の発達や生活、学習、親子関係や子育て等について相談できる場所です。

「知らなかった」が 58.2%と最も多く、次いで「利用したいと思わなかった、必要がなかった」が 34.1%、「利用したことがある」が 4.1%、「利用の仕方がわからなかった」が 2.5%となっています。

年齢層別にみると、「16～19 歳」は「利用したいと思わなかった、必要がなかった」、「20～24 歳」と「25～29 歳」は「知らなかった」が最も多くなっています。



※補足※

利用したかったが、条件を満たしていなかった 0.2%

利用したかったが、利用時間や制度が使いづらかった 0.2%

無回答 0.7%

【年齢層別 教育相談・幼児相談の利用状況】

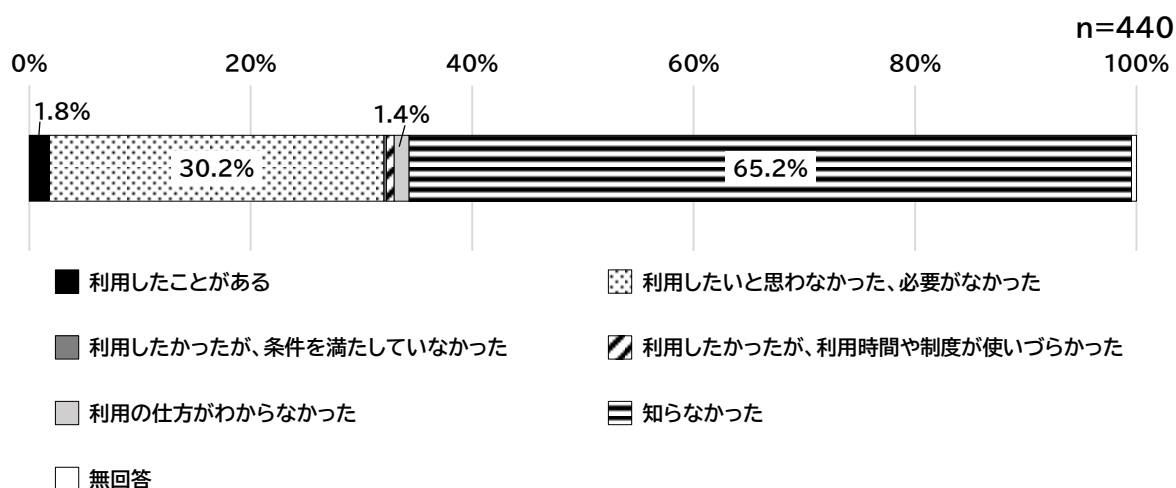
	利用したことがある	利用したいと思わなかった、必要がなかった	利用したかったが、条件を満たしていなかった	利用したかったが、利用時間や制度が使いづらかった	利用の仕方がわからなかった	知らなかった	無回答
16～19 歳 (n=99)	7.1%	51.5%	0.0%	1.0%	1.0%	39.4%	0.0%
20～24 歳 (n=142)	1.4%	31.7%	0.0%	0.0%	0.0%	66.2%	0.7%
25～29 歳 (n=199)	4.5%	27.1%	0.5%	0.0%	5.0%	61.8%	1.0%

f) 子ども家庭支援センター「のどか」

市内に在住するおおむね 18 歳までの子どもとその保護者の方を対象に、子どもに関する相談や子育て支援のための事業、情報提供を実施しています。

「知らなかった」が 65.2%と最も多く、次いで「利用したいと思わなかった、必要がなかった」が 30.2%、「利用したことがある」が 1.8%、「利用の仕方がわからなかった」が 1.4%となっています。

年齢層別にみると、全年齢層で「知らなかった」が最も多くなっています。「16～19 歳」は「20～24 歳」と「25～29 歳」と比べて、「利用したいと思わなかった、必要がなかった」の割合が高く、「知らなかった」の割合が低くなっています。



※補足※

利用したかったが、条件を満たしていなかった 0.2%

利用したかったが、利用時間や制度が使いづらかった 0.7%

無回答 0.5%

【年齢層別 子ども家庭支援センター「のどか」の利用状況】

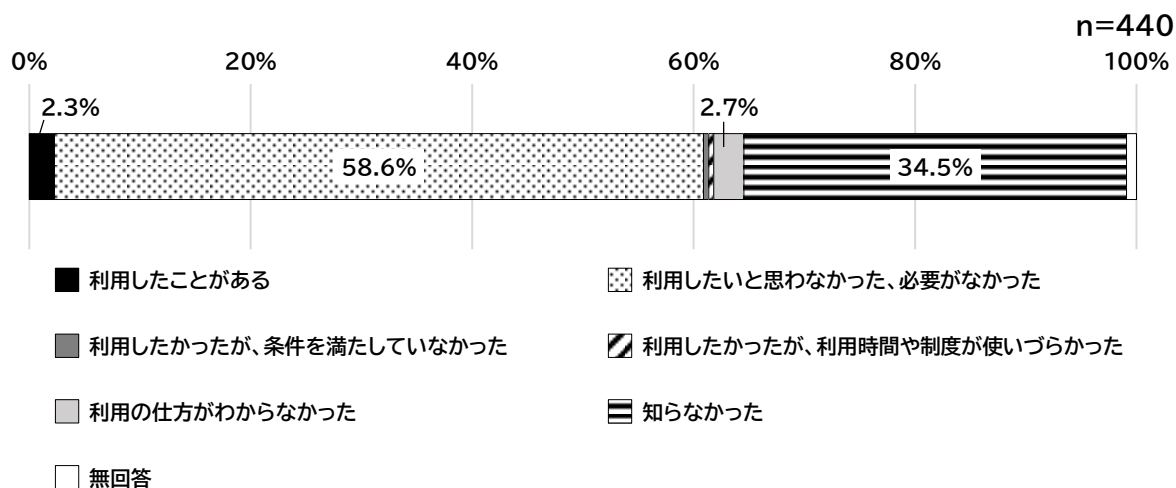
	利用したことがある	利用したいと思わなかった、必要がなかった	利用したかったが、条件を満たしていなかった	利用したかったが、利用時間や制度が使いづらかった	利用の仕方がわからなかった	知らなかった	無回答
16～19 歳 (n=99)	3.0%	45.5%	1.0%	1.0%	2.0%	47.5%	0.0%
20～24 歳 (n=142)	0.7%	26.8%	0.0%	0.0%	0.0%	71.8%	0.7%
25～29 歳 (n=199)	2.0%	25.1%	0.0%	1.0%	2.0%	69.3%	0.5%

g) 児童相談所

市内に在住するおおむね 18 歳までの子どもに関する相談・通告について、子ども本人・家族・学校の先生・地域の方々等から受け付ける専門の相談機関です。

「利用したいと思わなかった、必要がなかった」が 58.6%と最も多く、次いで「知らなかった」が 34.5%、「利用の仕方がわからなかった」が 2.7%、「利用したことがある」が 2.3%となっています。

年齢層別にみると、全年齢層で「利用したいと思わなかった、必要がなかった」が最も多く、次いで「知らなかった」となっています。「16～19 歳」は「20～24 歳」と「25～29 歳」と比べて「利用したいと思わなかった、必要がなかった」の割合が高く、「知らなかった」の割合が低くなっています。



※補足※

利用したかったが、条件を満たしていなかった 0.5%

利用したかったが、利用時間や制度が使いづらかった 0.5%

無回答 0.9%

【年齢層別 児童相談所の利用状況】

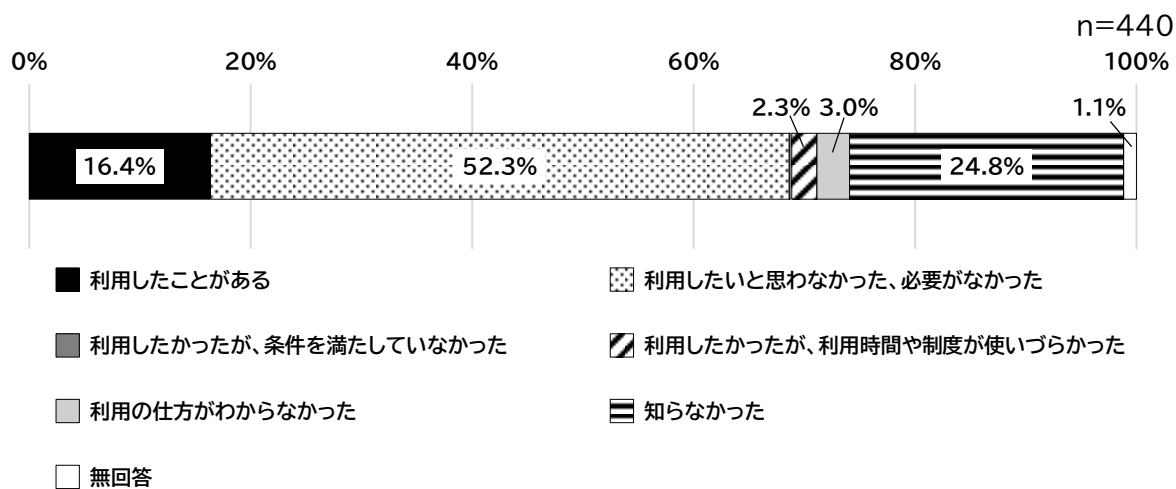
	利用したことがある	利用したいと思わなかった、必要がなかった	利用したかったが、条件を満たしていなかった	利用したかったが、利用時間や制度が使いづらかった	利用の仕方がわからなかった	知らなかった	無回答
16～19 歳 (n=99)	5.1%	69.7%	1.0%	0.0%	3.0%	21.2%	0.0%
20～24 歳 (n=142)	1.4%	58.5%	0.0%	1.4%	0.0%	38.0%	0.7%
25～29 歳 (n=199)	1.5%	53.3%	0.5%	0.0%	4.5%	38.7%	1.5%

h) スクールカウンセラー

市立小・中学校に配置され、不登校やいじめ、児童虐待等の未然防止・早期発見等、児童・生徒の悩みや抱えている問題の解決に向けた子どもの心理に関する支援を行っています。

「利用したいと思わなかった、必要がなかった」が52.3%と最も多く、次いで「知らなかった」が24.8%、「利用したことがある」が16.4%、「利用の仕方がわからなかった」が3.0%、「利用したかったが、利用時間や制度が使いづらかった」が2.3%となっています。

年齢層別にみると、全年齢層で「利用したいと思わなかった、必要がなかった」が最も多く、次いで「16～19歳」は「利用したことがある」、「20～24歳」と「25～29歳」は「知らなかった」となっています。



※補足※

利用したかったが、条件を満たしていなかった 0.2%

【年齢層別 スクールカウンセラーの利用状況】

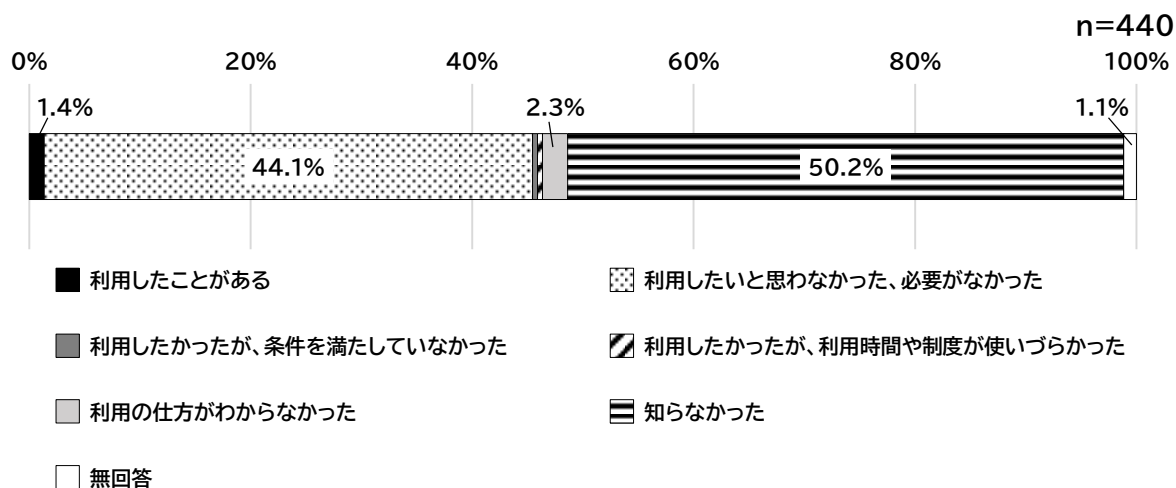
	利用したことがある	利用したいと思わなかった、必要がなかった	利用したかったが、条件を満たしていなかった	利用したかったが、利用時間や制度が使いづらかった	利用の仕方がわからなかった	知らなかった	無回答
16～19歳 (n=99)	28.3%	56.6%	0.0%	1.0%	4.0%	10.1%	0.0%
20～24歳 (n=142)	19.0%	48.6%	0.7%	4.9%	0.7%	24.6%	1.4%
25～29歳 (n=199)	8.5%	52.8%	0.0%	1.0%	4.0%	32.2%	1.5%

i) スクールソーシャルワーカー

不登校やヤングケアラー等、子どもが抱える様々な課題を解決に導くため、教育と福祉を繋ぐ援助を行っています。

「知らなかった」が 50.2%と最も多く、次いで「利用したいと思わなかった、必要がなかった」が 44.1%、「利用の仕方がわからなかった」が 2.3%、「利用したことがある」が 1.4%となっています。

年齢層別にみると、「16～19 歳」は「利用したいと思わなかった、必要がなかった」、「20～24 歳」と「25～29 歳」は「知らなかった」が最も多くなっています。



※補足※

利用したかったが、条件を満たしていなかった 0.5%

利用したかったが、利用時間や制度が使いづらかった 0.5%

【年齢層別 スクールソーシャルワーカーの利用状況】

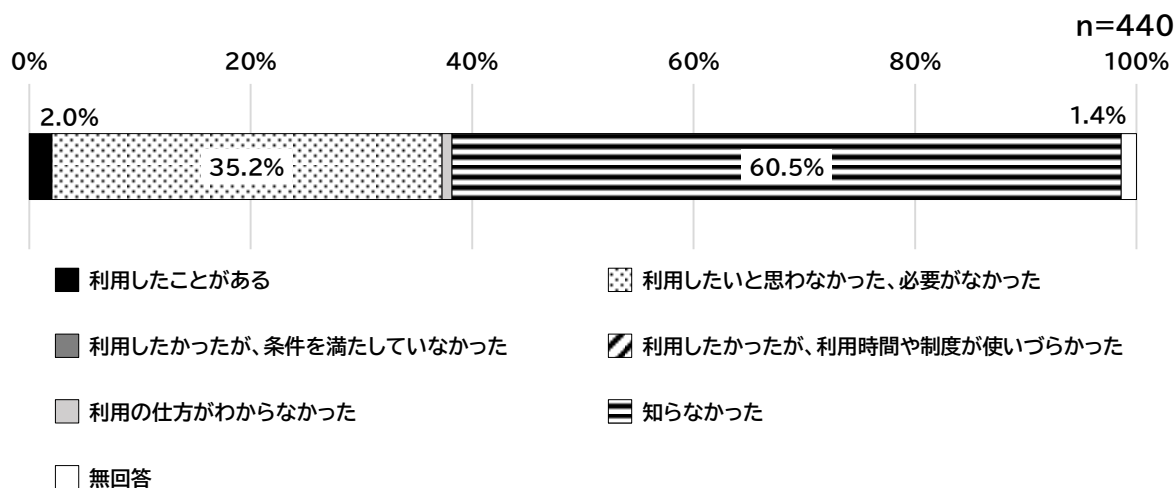
	利用したことがある	利用したいと思わなかった、必要がなかった	利用したかったが、条件を満たしていなかった	利用したかったが、利用時間や制度が使いづらかった	利用の仕方がわからなかった	知らなかった	無回答
16～19 歳 (n=99)	2.0%	52.5%	1.0%	0.0%	3.0%	41.4%	0.0%
20～24 歳 (n=142)	1.4%	40.1%	0.7%	0.7%	0.7%	54.9%	1.4%
25～29 歳 (n=199)	1.0%	42.7%	0.0%	0.5%	3.0%	51.3%	1.5%

j) 教育支援センター(適応指導教室)「スキップ教室」

様々な理由から学校に登校していない小・中学生の児童・生徒に対し、社会的な自立に向けた支援を行っています。

「知らなかった」が60.5%と最も多く、次いで「利用したいと思わなかった、必要がなかった」が35.2%、「利用したことがある」が2.0%となっています。

年齢層別にみると、全年齢層で「知らなかった」が最も多く、次いで「利用したいと思わなかった、必要がなかった」となっています。「16～19歳」は「20～24歳」と「25～29歳」と比べて、「利用したいと思わなかった、必要がなかった」の割合が高く、「知らなかった」の割合が低くなっています。



※補足※
利用の仕方がわからなかった 0.9%

【年齢層別 教育支援センター(適応指導教室)「スキップ教室」の利用状況】

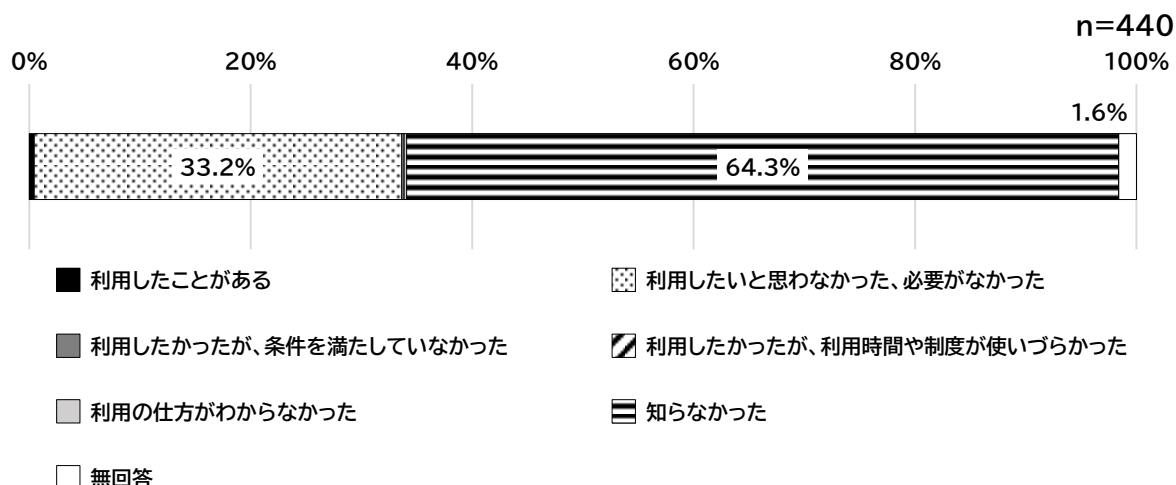
	利用したことがある	利用したいと思わなかった、必要がなかった	利用したかったが、条件を満たしていなかった	利用したかったが、利用時間や制度が使いづらかった	利用の仕方がわからなかった	知らなかった	無回答
16～19歳 (n=99)	4.0%	42.4%	0.0%	0.0%	1.0%	52.5%	0.0%
20～24歳 (n=142)	2.8%	32.4%	0.0%	0.0%	0.0%	63.4%	1.4%
25～29歳 (n=199)	0.5%	33.7%	0.0%	0.0%	1.5%	62.3%	2.0%

k) 不登校ひきこもり相談室「ニコモルーム」

学校に登校していない、家から外に出ない等の状態にある 18 歳までの児童・生徒等やその保護者の方が、相談や居場所として通うことのできる場です。

「知らなかった」が 64.3%と最も多く、次いで「利用したいと思わなかった、必要がなかった」が 33.2%となっています。

年齢層別にみると、全年齢で「知らなかった」が最も多く、次いで「利用したいと思わなかった、必要がなかった」となっています。「16～19 歳」は「20～24 歳」と「25～29 歳」と比べて、「利用したいと思わなかった、必要がなかった」の割合が高く、「知らなかった」の割合が低くなっています。



※補足※

利用したことがある 0.5%

利用したかったが、条件を満たしていなかった 0.2%

利用の仕方がわからなかった 0.2%

【年齢層別 不登校ひきこもり相談室「ニコモルーム」の利用状況】

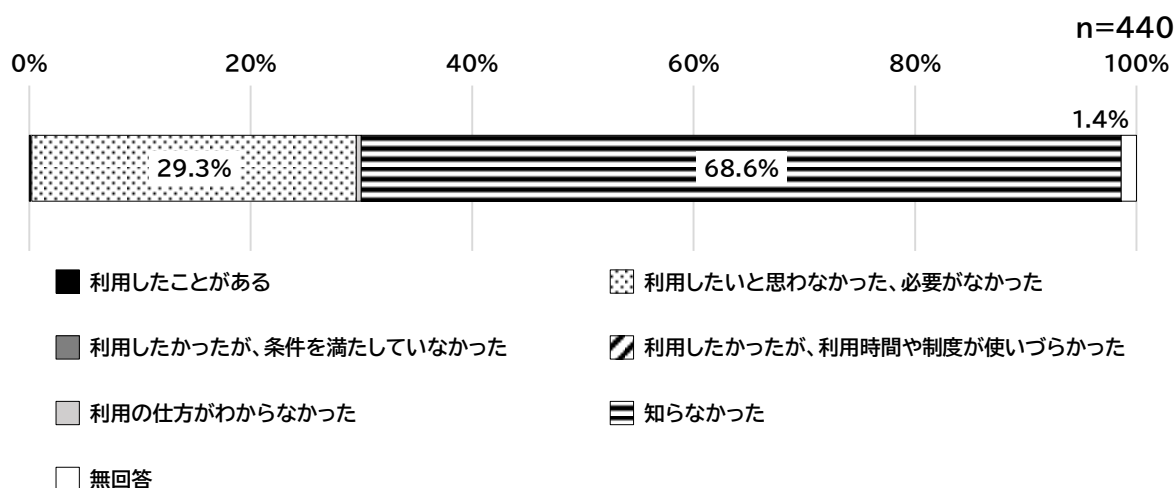
	利用したことがある	利用したいと思わなかった、必要がなかった	利用したかったが、条件を満たしていなかった	利用したかったが、利用時間や制度が使いづらかった	利用の仕方がわからなかった	知らなかった	無回答
16～19 歳 (n=99)	2.0%	42.4%	1.0%	0.0%	1.0%	53.5%	0.0%
20～24 歳 (n=142)	0.0%	28.9%	0.0%	0.0%	0.0%	69.7%	1.4%
25～29 歳 (n=199)	0.0%	31.7%	0.0%	0.0%	0.0%	65.8%	2.5%

l) 体験フリースペース「ニコモテラス」

学校に登校していない小・中学生のうち、継続的な支援につがっていない児童・生徒が利用できる場所のひとつとして、令和4年11月に開設しました。

「知らなかった」が68.6%と最も多く、次いで「利用したいと思わなかった、必要がなかった」が29.3%となっています。

年齢層別にみると、全年齢層で「知らなかった」が最も多く、次いで「利用したいと思わなかった、必要がなかった」となっています。「16～19歳」は「20～24歳」と「25～29歳」と比べて、「利用したいと思わなかった、必要がなかった」の割合が高く、「知らなかった」の割合が低くなっています。



※補足※

利用したことがある 0.2%

利用の仕方がわからなかった 0.5%

【年齢層別 体験フリースペース「ニコモテラス」の利用状況】

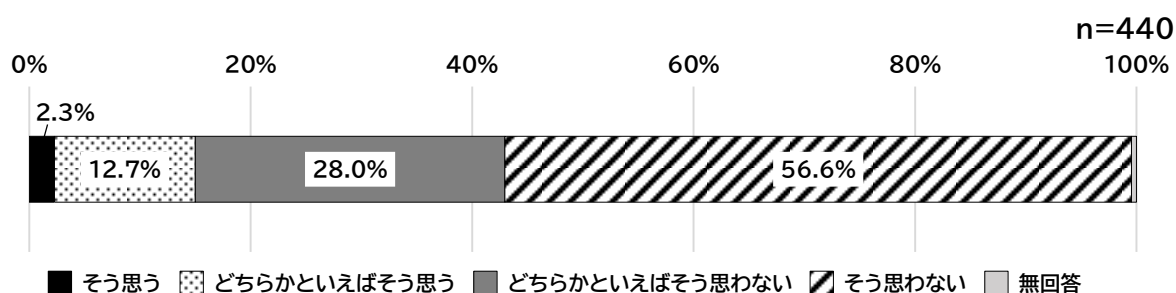
	利用したことがある	利用したいと思わなかった、必要がなかった	利用したかったが、条件を満たしていなかった	利用したかったが、利用時間や制度が使いづらかった	利用の仕方がわからなかった	知らなかった	無回答
16～19歳 (n=99)	1.0%	39.4%	0.0%	0.0%	0.0%	59.6%	0.0%
20～24歳 (n=142)	0.0%	24.6%	0.0%	0.0%	0.7%	72.5%	2.1%
25～29歳 (n=199)	0.0%	27.6%	0.0%	0.0%	0.5%	70.4%	1.5%

7. 意見表明

問 16-1 あなたは、西東京市の制度や取組について、自分の考えを伝えることができていると思いますか。【単数回答】

「そう思わない」が 56.6%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 28.0%、「どちらかといえばそう思う」が 12.7%、「そう思う」が 2.3%となっています。

年齢層別にみると、全年齢層で「そう思わない」が最も多く、次いで「どちらかといえばそう思わない」となっています。「25～29 歳」は「16～19 歳」と「20～24 歳」と比べて、「そう思わない」の割合が高く、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合が低くなっています。



※補足※
無回答 0.5%

【年齢層別 自分の考えを伝えることができている】

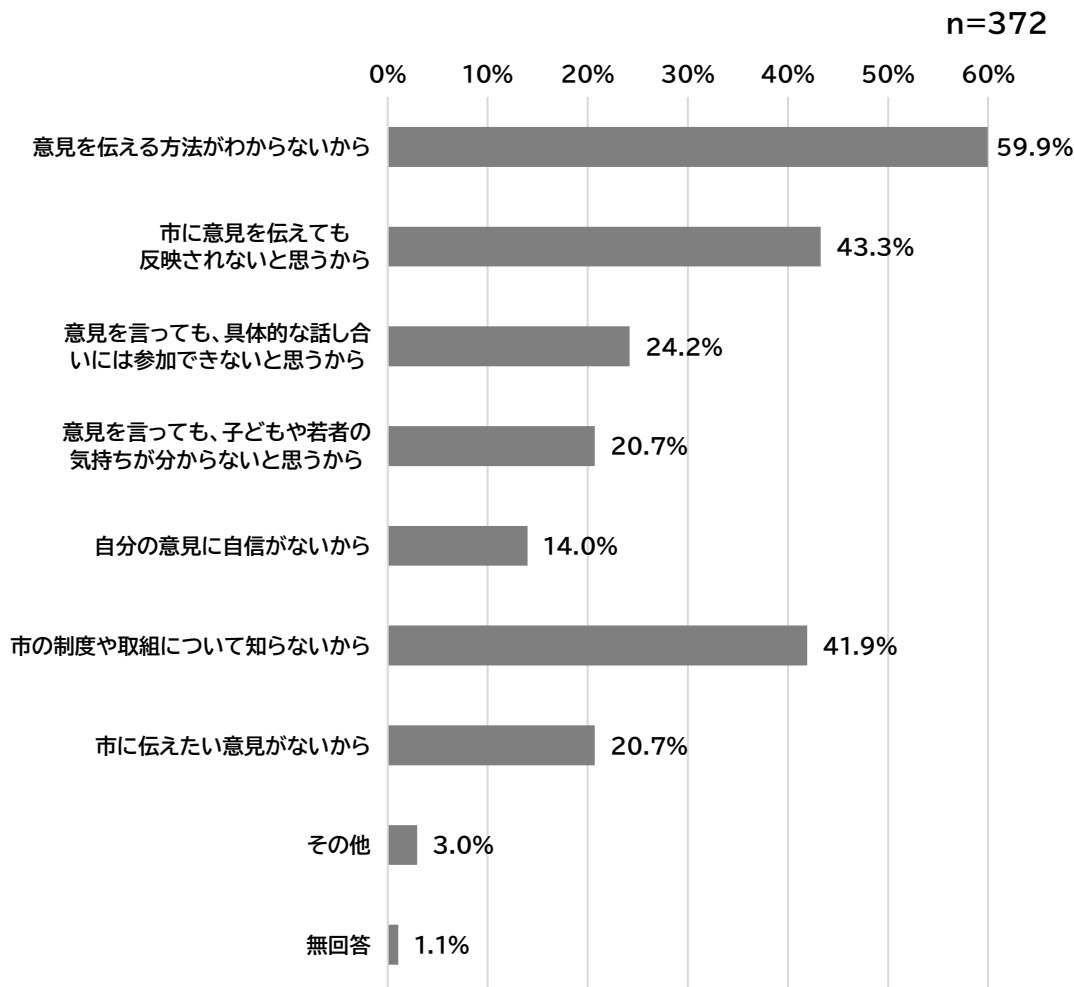
	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答
16～19 歳 (n=99)	6.1%	13.1%	26.3%	54.5%	0.0%
20～24 歳 (n=142)	2.8%	14.8%	28.9%	52.8%	0.7%
25～29 歳 (n=199)	0.0%	11.1%	28.1%	60.3%	0.5%

◆問 16-1 で「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を選択した方◆

問 16-2 そう思わない理由は何ですか。【複数回答】

「意見を伝える方法がわからないから」が 59.9%と最も多く、次いで「市に意見を伝えても反映されないと思うから」が 43.3%、「市の制度や取組について知らないから」が 41.9%、「意見を言っても、具体的な話し合いには参加できないと思うから」が 24.2%、「意見を言っても、子どもや若者の気持ちが分からないと思うから」と「市に伝えたい意見がないから」が 20.7%となっています。

年齢層別にみると、全年齢層で「意見を伝える方法がわからないから」が最も多く、次いで「16～19 歳」と「25～29 歳」は「市に意見を伝えても反映されないと思うから」、「20～24 歳」は「市の制度や取組について知らないから」となっています。



【主な「その他」回答】

- ・活動を知る・意見を伝える機会がない 3 件
- ・転入したばかり 2 件 等

【年齢層別 自分の考えを伝えることができていないと思う理由】

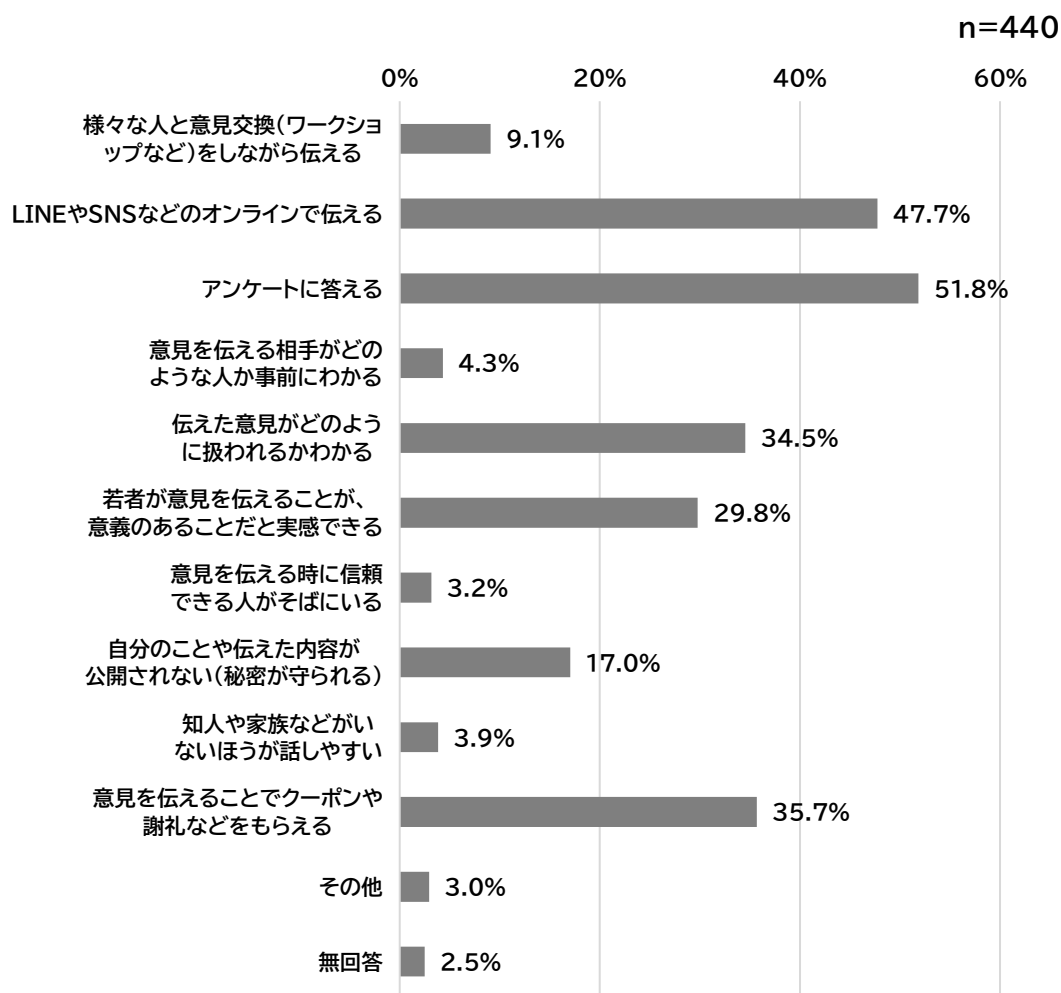
	意見を伝える方法がわからないから	市に意見を伝えても反映されないと思うから	意見を言っても、具体的な話し合いには参加できないと思うから	意見を言っても、子どもや若者の気持ちが分からないと思うから	自分の意見に自信がないから	市の制度や取組について知らないから	市に伝えたい意見がないから	その他	無回答
16～19 歳 (n=80)	60.0%	46.3%	23.8%	23.8%	15.0%	43.8%	30.0%	0.0%	1.3%
20～24 歳 (n=116)	62.1%	43.1%	22.4%	19.0%	18.1%	46.6%	22.4%	3.4%	0.9%
25～29 歳 (n=176)	58.5%	42.0%	25.6%	20.5%	10.8%	38.1%	15.3%	4.0%	1.1%

問 17 どのような方法や手段があれば、あなたは市の制度や取組について、意見を伝えやすいと思いますか。【3 つまで回答】

「アンケートに答える」が 51.8%と最も多く、次いで「LINE や SNS などのオンラインで伝える」が 47.7%、「意見を伝えることでクーポンや謝礼などをもらえる」が 35.7%、「伝えた意見がどのように扱われるかわかる」が 34.5%、「若者が意見を伝えることが、意義のあることだと実感できる」が 29.8%となっています。

年齢層別にみると、全年齢層で「アンケートに答える」が最も多く、次いで「LINE や SNS などのオンラインで伝える」となっています。「16～19 歳」と「20～24 歳」は「25～29 歳」と比べて、「伝えた意見がどのように扱われるかわかる」の割合が高くなっています。

現在の仕事別にみると、「学生群」と「正社員群」と「非正社員群」は「アンケートに答える」が最も多く、次いで「LINE や SNS などのオンラインで伝える」となっています。「無職群」は「アンケートに答える」と「LINE や SNS などのオンラインで伝える」が最も多くなっています。また、「無職群」は他の群と比べて、「意見を伝える相手がどのような人か事前にわかる」の割合が高くなっています。



【主な「その他」回答】

・市役所等に直接伝える機会がある 3 件 等

【年齢層別 意見を伝えやすいと思う方法や手段】

	様々な人と意見交換(ワークショップなどをしながら伝える)	LINEやSNSなどのオンラインで伝える	アンケートに答える	意見を伝える相手がどのような人か事前にわかる	伝えた意見がどのように扱われるかわかる	若者が意見を伝えることが、意義のあることだと実感できる	意見を伝える時に信頼できる人がそばにいる	自分のことや伝えた内容が公開されない(秘密が守られる)	知人や家族などがないほうが話しやすい	意見を伝えることでクーポンや謝礼などもらえる	その他	無回答
16～19歳 (n=99)	9.1%	47.5%	59.6%	3.0%	37.4%	31.3%	8.1%	18.2%	6.1%	31.3%	1.0%	0.0%
20～24歳 (n=142)	11.3%	44.4%	47.2%	5.6%	36.6%	32.4%	0.0%	16.2%	7.0%	36.6%	2.8%	4.2%
25～29歳 (n=199)	7.5%	50.3%	51.3%	4.0%	31.7%	27.1%	3.0%	17.1%	0.5%	37.2%	4.0%	2.5%

【現在の仕事別 意見を伝えやすいと思う方法や手段】

	様々な人と意見交換(ワークショップなどをしながら伝える)	LINEやSNSなどのオンラインで伝える	アンケートに答える	意見を伝える相手がどのような人か事前にわかる	伝えた意見がどのように扱われるかわかる	若者が意見を伝えることが、意義のあることだと実感できる	意見を伝える時に信頼できる人がそばにいる	自分のことや伝えた内容が公開されない(秘密が守られる)	知人や家族などがないほうが話しやすい	意見を伝えることでクーポンや謝礼などもらえる	その他	無回答
学生群 (n=164)	11.6%	45.1%	53.7%	4.3%	34.8%	32.3%	4.3%	18.9%	7.9%	32.9%	1.8%	0.0%
正社員群 (n=206)	7.3%	50.5%	51.5%	2.4%	35.0%	27.2%	1.9%	16.0%	0.5%	38.3%	2.4%	3.9%
非正社員群 (n=57)	10.5%	43.9%	47.4%	7.0%	33.3%	31.6%	5.3%	14.0%	5.3%	33.3%	5.3%	5.3%
無職群 (n=13)	0.0%	53.8%	53.8%	23.1%	30.8%	30.8%	0.0%	23.1%	0.0%	38.5%	15.4%	0.0%

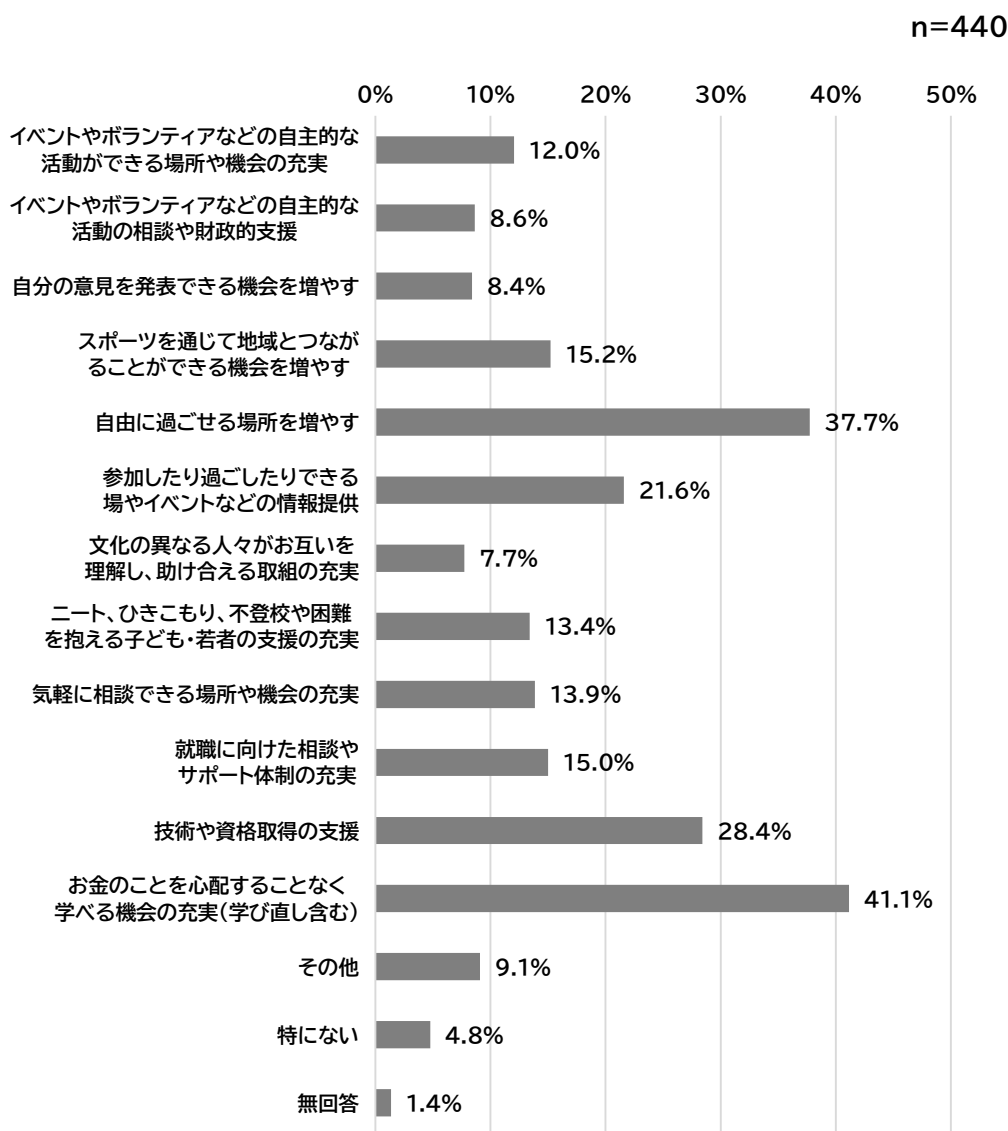
8. 若者支援

問 18 若者のために、西東京市に必要な取組は何だと思いますか。【3 つまで回答】

「お金のことを心配することなく学べる機会の充実(学び直し含む)」が 41.1%と最も多く、次いで「自由に過ごせる場所を増やす」が 37.7%、「技術や資格取得の支援」が 28.4%、「参加したり過ごしたりできる場やイベントなどの情報提供」が 21.6%、「スポーツを通じて地域とつながることができる機会を増やす」が 15.2%となっています。

年齢層別にみると、「16～19 歳」と「20～24 歳」は「自由に過ごせる場所を増やす」、「25～29 歳」はお金のことを心配することなく学べる機会の充実(学び直し含む)」が最も多くなっています。

現在の仕事別にみると、「学生群」は「自由に過ごせる場所を増やす」、「正社員群」と「非正社員群」と「無職群」は「お金のことを心配することなく学べる機会の充実(学び直し含む)」が最も多くなっています。



【主な「その他」回答】

- ・金銭的支援 11 件
- ・妊娠・出産・子育てへの支援 5 件
- ・市の名所(観光スポット)を作る 3 件 等

【年齢層別 若者のために、西東京市に必要な取組】

	イベントやボランティアなどの自主的な活動ができる場所や機会の充実	イベントやボランティアなどの自主的な活動の相談や財政的支援	自分の意見を发表できる機会を増やす	スポーツを通じて地域とつながることができる機会を増やす	自由に過ごせる場所を増やす	参加したり過ごしたりできる場やイベントなどの情報提供	文化の異なる人々がお互いを理解し、助け合える取組の充実	ニート、ひきこもり、不登校や困難を抱える子ども・若者の支援の充実	気軽に相談できる場所や機会の充実	就職に向けた相談やサポート体制の充実	技術や資格取得の支援	お金のことを心配することなく学べる機会の充実(学び直し含む)	その他	特にない	無回答
16～19歳 (n=99)	19.2%	10.1%	10.1%	21.2%	47.5%	12.1%	13.1%	16.2%	11.1%	19.2%	33.3%	35.4%	3.0%	2.0%	1.0%
20～24歳 (n=142)	14.1%	10.6%	8.5%	12.7%	40.1%	23.2%	6.3%	14.1%	12.7%	16.2%	24.6%	39.4%	5.6%	3.5%	2.1%
25～29歳 (n=199)	7.0%	6.5%	7.5%	14.1%	31.2%	25.1%	6.0%	11.6%	16.1%	12.1%	28.6%	45.2%	14.6%	7.0%	1.0%

【現在の仕事別 若者のために、西東京市に必要な取組】

	イベントやボランティアなどの自主的な活動ができる場所や機会の充実	イベントやボランティアなどの自主的な活動の相談や財政的支援	自分の意見を发表できる機会を増やす	スポーツを通じて地域とつながることができる機会を増やす	自由に過ごせる場所を増やす	参加したり過ごしたりできる場やイベントなどの情報提供	文化の異なる人々がお互いを理解し、助け合える取組の充実	ニート、ひきこもり、不登校や困難を抱える子ども・若者の支援の充実	気軽に相談できる場所や機会の充実	就職に向けた相談やサポート体制の充実	技術や資格取得の支援	お金のことを心配することなく学べる機会の充実(学び直し含む)	その他	特にない	無回答
学生群 (n=164)	18.9%	10.4%	10.4%	17.7%	48.2%	20.1%	12.2%	14.6%	12.2%	19.5%	28.0%	32.3%	4.3%	2.4%	1.2%
正社員群 (n=206)	7.3%	7.8%	8.7%	16.5%	32.5%	23.8%	5.8%	10.7%	15.0%	9.2%	27.2%	45.6%	10.7%	5.3%	1.9%
非正社員群 (n=57)	7.0%	5.3%	0.0%	5.3%	29.8%	21.1%	1.8%	19.3%	10.5%	21.1%	35.1%	50.9%	17.5%	8.8%	0.0%
無職群 (n=13)	23.1%	15.4%	15.4%	7.7%	23.1%	7.7%	7.7%	15.4%	30.8%	23.1%	23.1%	38.5%	7.7%	7.7%	0.0%

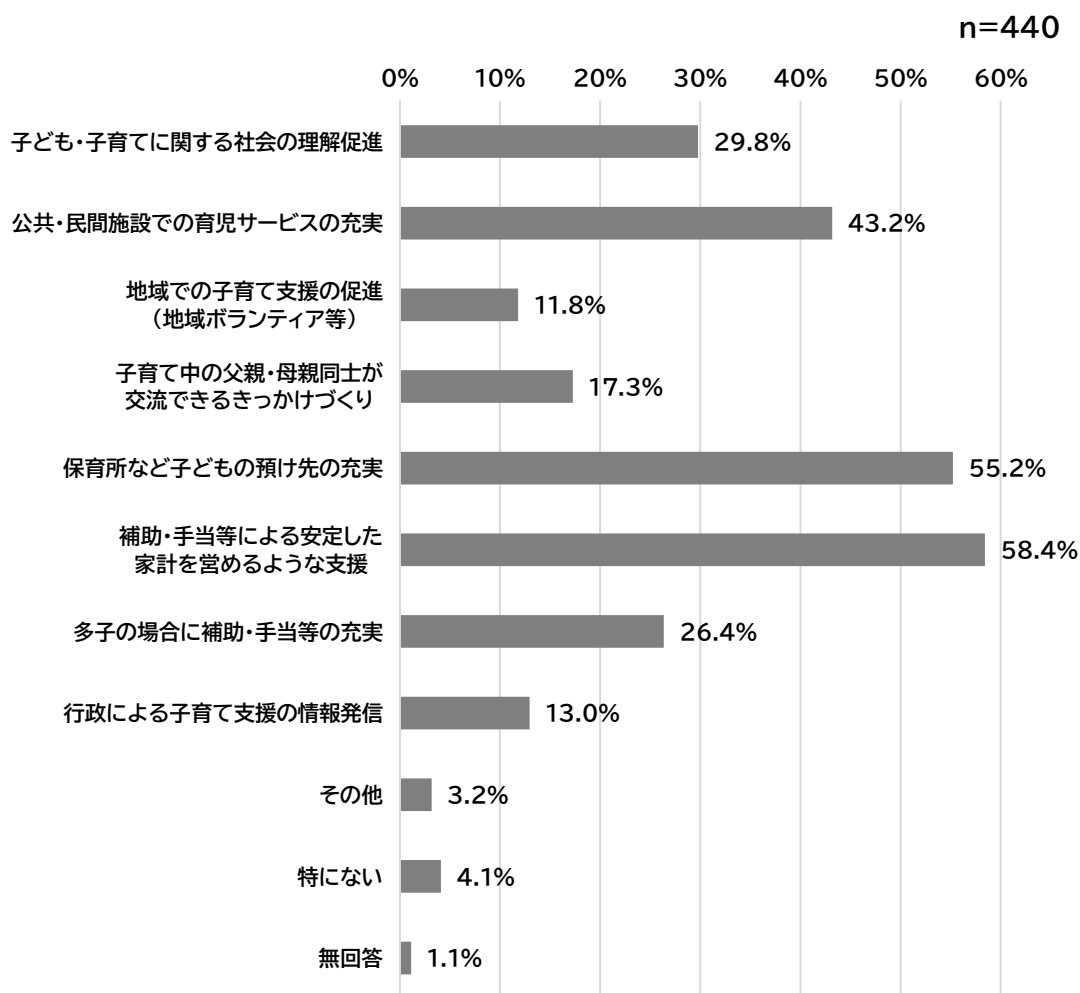
9. 結婚・出産

問 19 子育てしやすい社会には、どのような支援や取組が必要だと思いますか。【3 つまで回答】

「補助・手当等による安定した家計を営めるような支援」が 58.4%と最も多く、次いで「保育所など子どもの預け先の充実」が 55.2%、「公共・民間施設での育児サービスの充実」が 43.2%、「子ども・子育てに関する社会の理解促進」が 29.8%、「多子の場合に補助・手当等の充実」が 26.4%となっています。

年齢層別にみると、全年齢層で「補助・手当等による安定した家計を営めるような支援」が最も多く、次いで「保育所など子どもの預け先の充実」となっています。「16～19 歳」は「20～24 歳」と「25～29 歳」と比べて、「多子の場合に補助・手当等の充実」と「子育て中の父親・母親同士が交流できるきっかけづくり」の割合が高く、「20～24 歳」と「25～29 歳」は「16～19 歳」と比べて、「補助・手当等による安定した家計を営めるような支援」の割合が高くなっています。

配偶者・子どもの有無別にみると、「子あり群」は「保育所など子どもの預け先の充実」が最も多く、「配偶者あり/子なし群」と「配偶者なし/子なし群」は「補助・手当等による安定した家計を営めるような支援」が最も多くなっています。特に「配偶者あり/子なし群」は「補助・手当等による安定した家計を営めるような支援」と回答した人が 77.4%と高くなっています。



【主な「その他」回答】

- ・金銭的問題の解決 3 件
- ・周囲の理解(公園での大きな声やボール遊び含む) 2 件 等

【年齢層別 子育てしやすい社会に必要な支援や取組】

	子ども・子育てに関する社会の理解促進	公共・民間施設での育児サービスの充実	地域での子育て支援の促進(地域ボランティア等)	子育て中の父親・母親同士が交流できるきっかけづくり	保育所など子どもの預け先の充実	補助・手当等による安定した家計を営めるような支援	多子の場合に補助・手当等の充実	行政による子育て支援の情報発信	その他	特にない	無回答
16～19 歳 (n=99)	29.3%	41.4%	14.1%	23.2%	46.5%	49.5%	34.3%	13.1%	1.0%	6.1%	1.0%
20～24 歳 (n=142)	28.9%	45.1%	12.7%	17.6%	54.9%	61.3%	23.9%	12.7%	2.8%	4.2%	1.4%
25～29 歳 (n=199)	30.7%	42.7%	10.1%	14.1%	59.8%	60.8%	24.1%	13.1%	4.5%	3.0%	1.0%

【配偶者・子どもの有無別 子育てしやすい社会に必要な支援や取組】

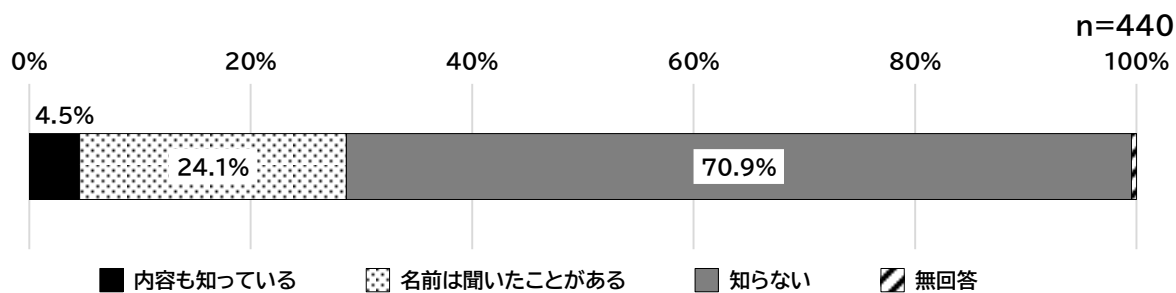
	子ども・子育てに関する社会の理解促進	公共・民間施設での育児サービスの充実	地域での子育て支援の促進(地域ボランティア等)	子育て中の父親・母親同士が交流できるきっかけづくり	保育所など子どもの預け先の充実	補助・手当等による安定した家計を営めるような支援	多子の場合に補助・手当等の充実	行政による子育て支援の情報発信	その他	特にない	無回答
子あり群 (n=33)	39.4%	48.5%	9.1%	12.1%	66.7%	63.6%	21.2%	12.1%	9.1%	0.0%	0.0%
配偶者あり/ 子なし群 (n=53)	24.5%	37.7%	11.3%	15.1%	66.0%	77.4%	24.5%	7.5%	0.0%	3.8%	1.9%
配偶者なし/ 子なし群 (n=353)	29.7%	43.6%	12.2%	17.8%	52.7%	55.0%	26.9%	13.9%	3.1%	4.5%	1.1%

10.子ども条例

問 20 あなたは、「西東京市子ども条例」を知っていますか。【単数回答】

「知らない」が70.9%と最も多く、次いで「名前は聞いたことがある」が24.1%、「内容も知っている」が4.5%となっています。

年齢層別にみると、全年齢層で「知らない」が最も多くなっています。「16～19 歳」は「20～24 歳」と「25～29 歳」と比べて「名前は聞いたことがある」の割合が高くなっています。



※補足※
無回答 0.5%

【年齢層別「西東京市子ども条例」の認知】

	内容も知っている	名前は聞いたことがある	知らない	無回答
16～19 歳 (n=99)	9.1%	43.4%	47.5%	0.0%
20～24 歳 (n=142)	4.9%	21.1%	73.2%	0.7%
25～29 歳 (n=199)	2.0%	16.6%	80.9%	0.5%

11. 自由回答

問21 西東京市に対して、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

141 人から合計 141 件の意見が寄せられました。

代表的な意見を抜粋し、内容ごとに分類して掲載しています。原則として回答された文を掲載していますが、一部、誤字脱字の修正や加筆、固有名詞の削除等を行っています。

各意見の文末に属性を記載しています。

【居場所】

- ・文理台公園のボール遊び一律禁止には、公園の周囲に子どもがたくさんいることと広大な敷地であることを加味すると、一律禁止は合理的とは言えないと思います。従って、道路側のみボール禁止にするなど、「一律」ではなく柔軟にボール遊びを認められるような方向性で子どもが遊べる場所をより多く確保してあげて欲しいと思います。(20 歳/生徒・学生)
- ・時間制限なく球技ができる公園を増やしてほしい。いこいの森のボール広場の時間制限をなくしてほしい。(18 歳/生徒・学生)
- ・バスケットゴールが欲しい。バスケットで人と繋がりたいのでバスケットが出来るスポットを増やして欲しい。(17 歳/生徒・学生)
- ・先日芝久保運動場のテニスコートがなくなり現在市内に4コートのみなので、地域の人との関わりを増やしたり、健康増進を図る意味でもテニスコートを増やしてほしい。(20 歳/生徒・学生)
- ・学生が、放課後や休日に遊べる商業施設が必要です。具体的には、ファミリーレストランやゲームセンター、アパレル、家族連れなども気軽に行けるフードコートなども必要だと思います。田無駅周辺は、ここ最近かなり廃れていっています。活気のある田無をもう一度見たいです。(16 歳/生徒・学生)
- ・自習室などフリースペースがあると嬉しいです。学生に限らず大人も勉強が出来るような場所がいいです。(23 歳/正社員・正規職員・会社役員)
- ・私は今高校2年生です。私たちの世代になると、服をオシャレにしてデートや遊びになど行きたいです。そのため、オシャレで友だちと会話ができて、飲み歩きができるものができるのもっと活発になると思います。そして、フードコートのような自由に食事を持ち寄り作業ができるスペースが欲しいです。時間を決めることによって混雑を回避し、みんなが使いやすいと思ったからです。いままで、テイクアウトして食べたところは公園と限られてしまっていました。しかし、雨の日だと何処にもいけず、その店舗のみとなります。すると、いろいろなお店で食べたくても食べてから次と一度に食べられません。また、お子さんがいる方にはお絵描きなど雨の日でも外に出かけられて、お菓子をもちよると無料であそべます。ぜひ、そのような利点を考えて作っていただけると幸いです。(16 歳/生徒・学生)

【社会参加】

- ・もっと地域の人の同士の(できれば無料の)イベントをやっていただけるとお友だちが増えて人生が楽しくなるかなと思いました。加えて不登校の子の支援も積極的にしていただけたらより労働人口も増え労働環境における人手不足も解消されるのではないかと思います。(29 歳/正社員・正規職員・会社役員)

【意見表明】

- ・心だんなかなか市に意見する機会がなく発言する機会を与えてくださり感謝しております。引き続き若者のみならずより多くの市民の声が発言しやすいアンケート等作ってくださると嬉しいです。またその際は市で使えるクーポンや謝礼があると嬉しいです。(29 歳/正社員・正規職員・会社役員)
- ・匿名のアンケート形式だと答えやすいので、そのやり方なら色々に参加できると思う。(何かクーポンとか謝礼があるとなお良し)(25 歳/正社員・正規職員・会社役員)
- ・意見を出す機会を、今回同様に設けてほしい。また、人数を絞るのではなく、誰でも回答しやすい場面があれば良いと思う。(24 歳/正社員・正規職員・会社役員)
- ・今回のようなアンケートを積極的に行っていくべきだと思います。行政に対して興味を持っている若者は沢山いるがその思いを伝える場所が少ないのが問題だと感じます。(18 歳/生徒・学生)

【若者支援】

- ・仕方ないと思うが、若者の人口が低い分、選挙に行っても意味がない感がすごくある。若者が活発になるような政策や市の運営を望む。(28 歳/自営業)
- ・子育てや福祉に税金投入も良いと思いますが独身貴族にもメリットある施策が欲しいです。1人で趣味を楽しめるスペースとか。あとこれからの若者を集客(移住? 上京?)するまちづくりとか。(28 歳/正社員・正規職員・会社役員)
- ・私は今現在、高校で寮に入り野球を頑張っています。大学でも野球を続けたいと思うとともに将来は学校の先生になるのが夢です。兄弟が他にもおり、私だけが好きなことだけをやってもよいのかと考えることがあります。親には教育ローンを組んでもらい高校に行かせてもらっているのでもう大学で野球を続けるのは難しいと考えます。西東京市から奨学金制度があればそれを利用したいと考えています。将来は学校の先生になって西東京市の学校に戻ってきて恩返しをしたいと考えています。(16 歳/生徒・学生)
- ・高校卒業後、大学卒業後も西東京市に住み続けたいと思うことができる魅力的な街になってほしい。子育て世帯だけに目を向けるのではなく、働いているが子どもはいない人も安心して暮らせるようにしてほしい。納税する見返りがあまりないように感じるので、もっと税金は平等に使ってほしい。納税率によって、見返りに差もつけてほしい。(28 歳/正社員・正規職員・会社役員)
- ・「若者」という言葉に一人暮らしの社会人は入っているのでしょうか。20代、給料もボーナスもまともに出ないお金が足りない環境で結婚や子どもを作ろうなんて考えられません。1人の生活でいっぱい입니다。結婚してもいいかも、子どもを産んでも育てられそうと思える取り組みをして欲しいです。(26 歳/正社員・正規職員・会社役員)

【結婚・出産】

- ・支援センターのイベントは1歳過ぎになると数が減ってしまい、毎日息子との過ごし方に試行錯誤しています。まだまだ子連れで安心して訪れられる施設が少ないと思うので、充実を望みます。児童館なども、施設自体やおもちゃが古いのも利用人数が伸びない理由だと思うので、既存施設にももう少しお金をかけてもらいたいです。子育て世代への補助金等も拡充してもらえると嬉しいです。(29 歳/正社員・正規職員・会社役員)
- ・子どもが出来た時の支援がもっと充実してほしい。そうでないと子どもを作る気になれない。(28 歳/正社員・正規職員・会社役員)
- ・子どもは欲しいと妻と話しているが、市の子育て支援はどうしても目立ったものがなく、子どもを西東京市で育てて良いのか不安です。税金はこれ以上増えてほしくない思いはあるが、3歳まで子育て支援金や市内で子どもを育てるための引越しの補助金など何らかの形で最悪、増税してでも後押しして欲しいです。4年住んで緑も多くいい街だと思っているので。(28 歳/正社員・正規職員・会社役員)
- ・保谷庁舎でしか検診や BCG が打てないのが不便すぎる。(29 歳/正社員・正規職員・会社役員)

【子ども条例】

- ・西東京市子ども条例について、学校の先生がきちんと守っていないこともあるので講師への理解に力を入れるべきだと思います。(16 歳/生徒・学生)

【都市開発・整備】

- ・西東京市の中でも旧田無市の南側のエリアは商業施設が少なく、開発が進んでいないと日々感じています。コンビニエンスストアや書店、飲食店、バス停等の数が増えることを希望しています。(22 歳/生徒・学生)
- ・道が狭い。自転車で通行しているとヒヤツとする場面が多々ある。難しいと思うが、歩道を広く取ったり、自転車が十分に通行可能な車道の広さを確保できたら、とても快適に通行できると思う。また、私がよく利用する中央図書館では、声の大きい方が多く、本来の使い方をしている人の邪魔になっていると感じる時がある。集団でたむろする学生も多い。トイレの利用も本来の用途とは異なる利用方法をしている人がいるらしい。もっと秩序があれば良いと思う。(16 歳/生徒・学生)

【金銭面】

- ・ごみ袋が高すぎる。せめて、プラスチックはリサイクルするのだから、透明の指定ではない袋で良いと思う。(24 歳/嘱託・契約社員・派遣社員)
- ・子育てをするには、まず若い子育て世代が安定した貯蓄や仕事を手にしないことには始まりません。それからやっと恋人を作ろう、結婚しよう、子どもをつくろうの選択肢が生まれるのです。共働きや女性の社会進出など関係ないです。保育所の確保、賃金上げ、税の緩和、給付金等が揃わないと女性は子どもをつくろうとは思いません。日本の出生率が下がっていますが、ほとんどがお金でカバーできます。本当に出生率を上げたいのなら、賃金をあげる、税で搾り取らない、安心できる保育所、教育機関を準備する。それだけです。(29 歳/自営業)

【情報発信】

- ・チラシや掲示物だけでなく、動画サイトの広告やブラウザのバナー広告等のインターネット内でも宣伝の場を広げてみるといいと思います。(28 歳/パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員)
- ・ボランティア活動を活発化させたいのならまず広報を大事にしたほうがいいと思う。(21 歳/生徒・学生)
- ・条例や、こういった支援があるのかなどを知る機会がありません。せっかく使える支援があっても、浸透してなければ西東京市の役になっているとは思えないので、もっとこんな活動をしていて、こういった支援があるのか等をいまどきの方法で発信して欲しい。(28 歳/正社員・正規職員・会社役員)
- ・新しい取り組みもいいと思うが、知られるべき制度、取り組みが周知されていない事がまず問題だと思う。市役所に訪れても事務作業に追われていて、寄り添うような体制は感じられない。そういう小さなところでの声掛け、取り組みを周知させることが若者の不安や漠然とした不安に寄り添う上で大事なのではないかと思う。ただ取り組みがあるという事実だけでは何も変わらない。(28 歳/正社員・正規職員・会社役員)

西東京市若者調査 結果報告書

発行年月:令和7年3月

発 行:西東京市子育て支援部子育て支援課
東京都西東京市南町五丁目 6 番 13 号

電 話:042-460-9841(直通)



リサイクル適性 (A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。